

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	教養 I			星野		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	02×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は情報サービス企業に勤務し数年間、サポートデスクに携わった実績を踏まえ、サービス業務実務者の観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

ビジネス文書検定3級の合格を目指すことを大きな目標とする。検定試験の後は、連携授業や就職対策になるような

基本的な書き言葉や敬語のマナーを身につける。後期の授業で取り上げる、「サービス接客検定2級」の受験の準備としても活用する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション・試験体験版	授業の概要説明／過去問題に挑戦(過去問題を通じて、試験問題を体感する)
2	検定対策①	ウォーミングアップ／敬語の基本／用字・常用漢字
3	検定対策②	ウォーミングアップ／社外文書の基本書式／あいさつ文
4	検定対策③・小テスト	ウォーミングアップ／社内文書の基本書式／過去問演習／小テスト(用字・常用漢字・あいさつ文)
5	検定対策④	ウォーミングアップ／小テスト(敬語・あいさつ文)／過去問演習
6	検定対策⑤	ウォーミングアップ／文書書式・訂正問題／過去問演習
7	検定対策⑥	ウォーミングアップ／小テスト(文書書式)／過去問演習
8	検定対策⑦・小テスト	ウォーミングアップ／郵便や文書の取り扱いについて／過去問演習／小テスト(文書書式)
9	検定対策⑧	過去問実施&解説／試験当日の案内
10	検定試験振り返り	検定試験問題返却と解答速報
11	就職対策①	ウォーミングアップ／就職活動に活かせる文書とメールテクニック
12	就職対策②	ウォーミングアップ／就職活動に活かせる文書とメールテクニック
13	就職対策③・小テスト	ウォーミングアップ／就職活動に活かせる文書とメールテクニック／小テスト(ビジネスメール)
14	総復習	ビジネス文書検定3級の総復習
15	期末テスト・小テスト再試	期末テスト(6月のビジネス文書検定3級の合格者は試験免除→出欠をとるため必ず出席すること)

☐ 到達目標

- ・ビジネス文書検定3級合格程度の知識定着
- ・書き言葉や文書・メール作成に必要なスキルの定着

☐ 成績評価の方法・基準

期末考査(60点)／小テスト(15点)／出席・授業態度(25点)
※6月の検定試験で合格した者は、期末考査免除

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ビジネスコミュニケーションⅠ（キャリア基礎）			柿沼 直樹		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

- ・自分自身を理解し、将来像を考えることで、今、そしてこれから取り組むべきことを明確にする。
その内容に沿ったかたちで講義を進めて、対外コミュニケーションスキルを上げ、後期の業界EXPO、本格的な就職活動につなげる。
- ・「過去の自分」をもとにした「自己PR」を完成させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエン、自己紹介	半期の流れの説明及び、学生の自己紹介を行う。
2	学校を知る・学科を知る	学校の特長や学科の各授業が、どういった資格につながり、卒業後、どうなっていくための授業なのか、2年間、もしくは3年間の学びについて紹介する。
3	コミュニケーションゲーム（他人から見た自分）	クラスメイトから見た自分と、自身が思っている自分のイメージの違いを認識し、これから行う自己PR（長所）の作成に役立てる。「You are シート」を作成し、他己紹介を行い、スピーチトレーニングの要素を含める。
4	自己理解	マイカンパニーの概要に触れてから冊子のP.7～P.13の個人ワークを行う。その後、ペアになりお互いのことを発表。「話して気づいたこと」「聞いて心が動いたこと」をP.14のシートに記入。その内容も踏まえつつ、個人ワークで「自分史シート」「I am シート」を作成し、自身の強みを知り、なぜそれが身に付いたかをさらに掘り下げて考える。
5	キャリアプランニング	「将来デザインシート」「目標設定シート」を作成し、自身のざっくりとした将来像を考え、そのために必要なもの、今からできることを考える。そこで出てくるものが想定されるものが、第5回以降の授業で学ぶ内容とリンクしていく。
6	対外コミュニケーション①	対外コミュニケーションで必要となることを、例を挙げて解説。ロールプレイングを含めても良い。（例：「会社説明会に参加する」⇒入口でコートは脱ぎ、説明会の聞き方、メモは、質問は、終了後は、など）
7	対外コミュニケーション②	対外コミュニケーションで必要となる、採用担当者への文章の書き方やメール作成の仕方を考える。
8	<自己分析①> 自己PRにつなげる	前回までに取り組んだことを活かして、「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」を考える。
9	<自己分析②> 自己PRを作成する	前回までに取り組んだことを活かして、「自己PR」を完成させる。
10	<自己分析③> 人の自己PRを聞いてみるⅠ	前回までに作成した「自己PR」「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」等を、数名のグループを作って一人ずつ発表する。人からの意見を聞くことで新たな気づきがあったり、参考にできる部分は参考に。また、発言を聞いている人は、発言者に必ず質問する。（そのため話をしっかり聞き、メモを取る。）
11	<自己分析④> 人の自己PRを聞いてみるⅡ	前回までに作成した「自己PR」「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」等を、数名のグループを作って一人ずつ発表する。人からの意見を聞くことで新たな気づきがあったり、参考にできる部分は参考に。また、発言を聞いている人は、発言者に必ず質問する。（そのため話をしっかり聞き、メモを取る。）
12	質問力を高める	他学科・他部署の先生が時間を区切り、あるテーマで話を。学生はチームで質問を考え、代表者が挙手の上、質問をしていく。学生は、質問をするためしっかり話を聞き、メモを取って臨む。（人と話を交えて、複数講師も可。）
13	業界研究「職業・職種を知る」	自身が目指す（興味のある）業界・職種（人によっては具体的な企業）について調査し、各自でまとめて発表する。
14	身だしなみ講座＆就職情報サイト登録	これから本格的に就職活動を行う上で必要となる「身だしなみ」について学ぶ。（挨拶や表情についても触れる）さらにマイナビ、リクナビ等の就職情報サイトの登録を行い、後期に向けて活動がスムーズに進められるようにする。
15	前期試験	昨年度の業界EXPO参加票をそのまま使って、自己PR欄を完成させる。いよいよ後期には業界EXPOがある＝（就職活動が本格的に始まる）ことの動機付けにする。

☐ 到達目標

- ・「過去の自分」をもとにした「自己PR」は完成させる。
- ・就職活動の準備段階で必要となる対外コミュニケーションスキルを身に付け、スムーズに業界EXPOに参加できるようにする。

☐ 成績評価の方法・基準

- ・業界EXPO参加票の最後の行まで記入できていれば100点。
そこから、出欠状況、授業に取り組む姿勢等を考慮し、学科判断で減点する。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	コンピュータ演習 I			瀧田 崇		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2 時限×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

Excelの基本操作から初歩的な関数までを学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	評価方法、表計算ソフトとは、キーボード構成、ポインタ
2	セルの書式設定	英数字の入力/編集、オートフィル、保存方法
3	データ入力	漢字変換も含めたデータ入力、罫線
4	計算式	四則演算を用いた数式、セルの表示形式設定、行/列の高さや幅の調整
5	関数を使った計算①	SUM、AVERAGE、MAX、MIN
6	関数を使った計算②	COUNT系、%、通貨単位、カンマ
7	絶対参照と割合	折れ線グラフ、棒グラフ、右クリックによるラベル設定
8	グラフ①	折れ線グラフ、棒グラフ、右クリックによるラベル設定
9	グラフ②	円グラフ（塗りつぶし、テキストを含む）
10	関数①	Σ内の関数
11	関数②	IF関数
12	関数③	IF関数応用（入れ子構造）
13	関数④	COUNT系②、ROUND系
14	試験前の総復習	
15	前期期末試験	

☐ 到達目標

MS-Excelの諸検定 3 級レベルの理解および検定合格

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	グループエクササイズ指導Ⅰ		村田きよみ		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクタートレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 自体重トレーニング	実技クランチ
2	実技 自体重トレーニング	クランチの指導
3	実技 自体重トレーニング	実技フワードランジ
4	実技 自体重トレーニング	フワードランジの指導
5	実技 自体重トレーニング	実技スクワット
6	実技 自体重トレーニング	スクワットの指導
7	実技 自体重トレーニング	実技バードドック
8	実技 自体重トレーニング	バードドックの指導
9	実技 自体重トレーニング	実技プッシュアップ
10	実技 自体重トレーニング	プッシュアップの指導
11	実技 自体重トレーニング	5種エクササイズの指導
12	まとめ	5種自体重トレーニングのまとめ
13	エアロビックダンス	エアロビックダンスを知る
14	エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
15	前期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	グループエクササイズ指導Ⅱ		村田きよみ		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクタートレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 自体重トレーニング	実技クランチ
2	実技 自体重トレーニング	クランチの指導
3	実技 自体重トレーニング	実技フワードランジ
4	実技 自体重トレーニング	フワードランジの指導
5	実技 自体重トレーニング	実技スクワット
6	実技 自体重トレーニング	スクワットの指導
7	実技 自体重トレーニング	実技バードドック
8	実技 自体重トレーニング	バードドックの指導
9	実技 自体重トレーニング	実技プッシュアップ
10	実技 自体重トレーニング	プッシュアップの指導
11	実技 自体重トレーニング	5種エクササイズの指導
12	まとめ	5種自体重トレーニングのまとめ
13	エアロビックダンス	エアロビックダンスを知る
14	エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
15	前期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	ホスピタリティ I		宮岡 正樹		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	1×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社東急スポーツオアシス15年、エイワンスポーツプラザ5年 通算20年の運営、経営経験。その後、フリーランスでスポーツメディア株式会社アドバイザー（他5社）、全国30社以上のスポーツビジネスの開業、運営支援、人材育成を行う。

☐ 授業科目の概要

スポーツビジネスのKFSであるホスピタリティを様々なポイントから重要性活用方法を学びます。安易なサービスではなく、顧客理解と一緒に働くメンバーの理解を深めるポイントについても対面、オンデマンド、グループワークなど様々な形式でも対応できる講義を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ホスピタリティと自己認識	サービスとホスピタリティの基本的な違いの説明とエゴグラムを用いた自己認識を行う。
2	サービスとホスピタリティの事例	サービスとホスピタリティの具体例を様々な業種事例で紹介し理解を深め、アイデアを出してみる。
3	相手主体のトレーニング	インタビューを活用し他己紹介から相手主体を学ぶ。
4	事例ディスカッション I	記憶に残ったホスピタリティの高い対応を各自3つ以上プレゼンを行い理解力を高める。
5	サービスとホスピタリティへの変革	USJの事例を外部、内部の視点から、どのように今のポジショニングになったのか学ぶ。
6	パラダイムシフトと主体的	思考、フォーカスすべきもの、相手、行動思考の基本は自分であることを学び、事例をまとめる。
7	ゴールか逆算した行動	1年生終了時の目標、ゴールを定めるとともに達成までのスケジュール、マイルストーンを立ててみる。
8	4つの領域	事象を4つの領域に分けて、最優先事項と必要ない事項を明確にし時間配分を見直す。
9	自分も相手も幸福であること	Win-winの関係づくりを知る。
10	聞き上手になって信頼残高UP	相手の立場に立つ難しさと信頼を得られる行動とは？
11	違って当然、わがままは当然	相手との違いを尊重し相手の長所から学ぶ。
12	マイナス思考とプラス思考	妥協でなく相乗効果 信頼する勇気を持つ。
13	行動する思考を身につける	WHYとHOWのロールプレイング実施。
14	満足ラインと感動ライン	相手が満足する事と感動することの違いを知る。
15	前期考査	前期考査

☐ 到達目標

相手のニーズを理解、最善策を考え行動に移す習慣を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	フィジカルマネジメントⅠ			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

☐ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	自己紹介(自分のやりたいことを口に出して言ってみる)
2	BIG3(ベンチプレス)	とにかくベンチプレスをする 筋肉の種類の話
3	BIG3(スクワット)	とにかくスクワットをする 分割法・ストレッチの話
4	BIG3(デッドリフト)	とにかくデッドリフトをする P.O.Fの話
5	脚トレ	脚トレ 免疫の話(オープンウインド) スクワット、ハック、ランジ、EX、カール、カーフ
6	腕トレ	ストリクトカール、二頭、三頭 ゴールデンタイムの話
7	背中トレ	ラックプル、ブルアップ、ワンハンドロウ、ロウイング サプリメントの摂取タイミングの話
8	肩トレ	ダンベルプレス、バックプレス、ダンベルリア、ケーブルリア、サイドレイズ アイソトニックとハイポトニックの話
9	神経系トレーニング	クリーン、ダッシュ
10	脚トレ	スクワット、ブルガリアンスクワット、ヒップスラスト、リバースノルディックカール、ノルディックハム
11	胸トレ	ベンチ、インクラDフライ、ケーブルクロス、ボクシング
12	MAX測定	BIG3
13	BIG3	スクワット、デッドリフト
14	背中、脚	ベントオーバー、ブルアップ、レッグEX、ハックスクワット、スタンディングロールアウト
15	前期試験	2人1組で考えたメニューを行なう②

☐ 到達目標

トレーニングを通して身体の構造及び、トレーニング方法、
トレーナーとしての立振る舞いを学ぶ。

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的には出席。期末試験では実践的な対話力を評価。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツイベント企画Ⅰ			平 陵治		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（一社）bjアカデミーに8年間在籍し、バスケットボールスクールの運営や生徒募集のための体験イベント企画立案、運営に従事。
その後独立し、様々なスポーツイベントのサポートを行っている。

☐ 授業科目の概要

JR東日本代々木駅との産学連携「駅からハイキング」に取り組む
今年度は120周年となり、特別な年として時期やイベント内容に工夫を凝らす

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション、企画するイベントについて	授業の進め方について、J R東日本主催「駅からハイキング」についての解説、昨年の反省の共有
2	「駅からハイキング」のコース検討	フィールドワークで経由するスポットの候補を探索する
3	「駅からハイキング」コース決定するための討議、コース決定	フィールドワークで探索した候補を挙げて全員で討議し、コースを決定
4	「駅からハイキング」コース決定するための討議	フィールドワークで探索した候補を挙げて全員で討議
5	「駅からハイキング」企画書作成	JR東日本代々木駅提出用資料の作成→提出
6	「駅からハイキング」ゴールイベント考案	「駅からハイキング」時のゴール後イベントの考案と、参加者に配布する記念品の考案
7	「駅からハイキング」ゴールイベント決定	「駅からハイキング」ゴール後イベントと記念品についてのプレゼンテーション、決定
8	「駅からハイキング」クーポン券企画説明と地域貢献について	「駅からハイキング」が地域に貢献する意味、クーポン券の考え方
9	クーポン券企画①	「クーポン券協賛企画書」の作成、企画書の書き方
10	クーポン券企画②	企画書を持参してルート周辺の店舗等に協賛の交渉
11	クーポン券企画③	企画書を持参してルート周辺の店舗等に協賛の交渉
12	駅からハイキング実施準備①	到着時に掲出するポスター作成、1 Fサイネージで流す動画作成
13	駅からハイキング実施準備②	ゴール後イベントのシミュレーション、運営マニュアル作成
14	駅からハイキング実施準備③	ゴール後イベントのシミュレーション、運営マニュアル作成
15	駅からハイキング実施準備④	必要備品の種類、個数をまとめる、いつ必要になるのかの確認、先に必要なものは発注 駅からハイキング期間中のシフト作成

☐ 到達目標

イベントの企画から運営までを主体的に行えるようになること

☐ 成績評価の方法・基準

取り組み姿勢70%、役割15%、出席状況15%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		グローバルビジネス I		假屋 祐貴		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師の假屋は、Zero-Zero株式会社を4年間経営しており、スポーツビジネスにおいては通算10年以上の実務経験を有しています。

☐ 授業科目の概要

授業は教室での講義形式で行われ、スポーツビジネスの基礎を学びます。受講から1年後には、より深い知識と理解を身につけることができます。
また、国内の事例だけでなく、海外のスポーツビジネスに関するノウハウも学ぶことができます。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	自己紹介 / 生徒ヒアリング / カリキュラムの説明 / 採点方法の説明
2	オリエンテーション続き・アメリカ大学リーグの基礎	自己紹介プレゼン / アメリカ大学リーグについて
3	スポーツ選手の年収	世界にはどのようなスポーツがあり、その選手達の年収とは
4	スポーツビジネスの基礎 Part-1	スポーツビジネスとはどのようなお仕事なのか
5	スポーツビジネスの基礎 Part-2	スポーツマネジメント・スポーツマーケティング・スポーツファイナンスの基礎
6	(1) スポーツマネジメント Part-1	スポーツ組織の経営戦略 / チームマネジメント
7	(1) スポーツマネジメント Part-2	チームマネジメント / スポーツリーグとクラブ運営
8	(1) スポーツマネジメント Part-3	スポーツリーグとクラブ運営 / スポーツイベント企画・運営
9	(2) スポーツマーケティング Part-1	ブランド戦略とスポンサーシップ / メディアとデジタルマーケティング
10	(2) スポーツマーケティング Part-2	メディアとデジタルマーケティング / ファンエンゲージメント
11	(2) スポーツマーケティング Part-3	ファンエンゲージメント / スポーツ商品の市場分析
12	(3) スポーツファイナンス Part-1	スポーツビジネスの収益モデル / チケット販売と放映権ビジネス
13	(3) スポーツファイナンス Part-2	チケット販売と放映権ビジネス / 財務管理と投資戦略
14	(3) スポーツファイナンス Part-3	財務管理と投資戦略 / 選手契約と給与システム
15	前期プレゼン	アメリカ大学スポーツについてリサーチ & プレゼン（NCAAから1種目選ぶ）

☐ 到達目標

スポーツビジネスの基礎を学ぶ

☐ 成績評価の方法・基準

出席状況・授業態度50%、課題50%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ウェルネスマネジメントⅠ			宮崎景		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

スポーツ指導およびスポーツイベントを主な業務としている（有）アクアティック代表で、元JOC強化スタッフ、神奈川県国スポ監督（天皇杯3度獲得）、日本スポーツ協会コーチ4（上級）等の実績で、他の大学や専門学校等でもスポーツ関連の講義を受け持っている。

☐ 授業科目の概要

少子高齢化の社会情勢とともに発生する、地域状況や医療費といった諸々の問題に対する、スポーツの意義や関わる者の役割等の基礎知識を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	健康とは スポーツとは	健康の定義、スポーツや運動の意義、健康スポーツの目的と理念および価値を知る
2	スポーツ指導とは	役割、種類、価値、心構え 等
3	スポーツ習慣	重要性、クオリティーオブライフ、ウェルネスとヘルスの違い、身体と精神の関係
4	指導者の倫理	要因、問題、行為、言動、影響
5	指導の心構え	視点、主体、個性と自主性の尊重
6	コーチングスキル	基本的理論、コミュニケーションスキル、アドバイスの仕方、褒め方、叱り方、環境
7	スポーツの概念	スポーツの概念と歴史
8	スポーツと文化	文化としてのスポーツ
9	体力とは1	概念、分類、種類、特性
10	体力とは2	スポーツと体力の関係、パフォーマンスへの影響
11	トレーニングとは	原理、原則、処方、ウォーミングアップとウォーミングダウン
12	トレーニングの種類	携帯別分類、体力要素による分類
13	スポーツと健康の関係性	加齢現象、ロコモ、運動の役割
14	熱中症 運動時の注意点	種類、要因、予防、対応の仕方
15	前期考査	筆記試験口

☐ 到達目標

健康スポーツの知識と指導についての基礎を知る口

☐ 成績評価の方法・基準

試験35% 出席状況・授業態度65%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	自然環境組織論Ⅰ			柿沼 直樹		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

キャンプインストラクター資格取得のための理論また実習を通し、指導者役割と組織作り・組織的行動を学ぶ。
9月に実施されるキャンプ実習に向けて、座学にて知識を身に付ける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	授業の説明・簡単なレクリエーション・キャンプ資格について
2	アウトドアの種類	様々なアウトドアのレクチャー
3	キャンプの組織と種類	組織の大切さと、キャンプの種類 P,4～
4	人間と自然の関係	社会の現状と問題点、キャンプの意義と目的
5	人間の心身の理解	キャンプ中の身体の変化 P,38～47
6	自然環境の理解	地球温暖化、日本の自然の特徴、自然を理解する方法 P,48～55
7	キャンプインストラクターの資質と役割	コミュニケーションスキル P,65～70
8	アウトドアにおける安全の考え方	安全管理の視点、どんな危険が潜んでいるか P,90～98
9	アウトドアにおける安全の考え方	計画段階での安全管理 P,99～107
10	アウトドアにおける安全の考え方	実施中の安全管理アウトドアにおける危険因子 P,99～107
11	キャンプの生活技術①	テント、アウトドアクッキング、火おこし、野外炊事について P,136～152
12	キャンプの生活技術②	キャンプ、アウトドアにおいて使用する道具、スキル P,153～158
13	キャンプの基本装備	キャンプ場紹介・必要な装備品について・キャンプ実習計画書
14	試験対策・キャンプ実習の詳細	試験対策・実習計画・実習の情報
15	試験	筆記試験

☐ 到達目標

キャンプインストラクター 資格の取得
野外活動の基本の知識を得る

☐ 成績評価の方法・基準

出席含む授業態度姿勢・課題・レポート・試験

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	パーソナルトレーニング概論Ⅰ			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

☐ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スクワット	健スポがトレーナーとなってスクワットを教える
2	ベンチプレス	筋肉痛の話（ジム）ベンチプレス
3	デッドリフト	柔軟性の話（ジム）デッドリフト・ランジ
4	背中トレ	柔軟性、しゃがむ、片脚スクワット（ジム）懸垂、トップサイド、ラットプル、ロウイング、ダンベルロウ
5	脚トレ	免疫力の話（ジム）スクワット、ハックスクワット、ランジ、エクステンション、カール、リバースノルディックカール、カーフ
6	胸トレ	インシュリンの話（ジム）ベンチ、インクラインフライ、スミスインクライン、ケーブルクロス、チェストプレス
7	肩トレ	水の話（ジム）スミスショルダー、フロントレイズ、ケーブルリア、サイドレイズ、プレートローディング
8	腕トレ	日焼けの話（ジム）二頭、三頭(各4種)
9	胸トレ	(ジム)ベンチ、インクラインフライ、スミスインクライン、ケーブルクロス、チェストプレス
10	脚トレ	スクワット、ランジ、ハック、ヒップスラスト、ノルディックハム、リバースノルディックカール、EX、カール、腹筋
11	背中トレ	ラックプル、Tバー、Wダンベルロウ、懸垂、ラットプル、ロウイング、ブルオーバー、シュラッグ
12	MAX測定	BIG3
13	胸トレ	ベンチプレスメイン
14	2人1組でトレーニング	自由
15	前期試験	ペーパーテスト

☐ 到達目標

トレーニングをして身体の構造、栄養のことを学ぶ。
運動をする大切さを知る。

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的に出席。期末試験は理解度を評価。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	イラストレーター I		草刈		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

Illustratorの基本操作を学び、知識を身につける

Illustratorを使用し、カード・チラシ・ポスターなど制作できる知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	基本操作	ネームカード制作
2	ツールバー操作	ペンツール/長方形・楕円形ツール/グラデーションツールなどの使い方
3	基本練習①	選択ツール・整列
4	基本練習②	複製・重ね順・パスの動かし方
5	ペンツール練習	ペンツールの使い方・図形作成
6	ペンツール&パレット操作①	変形・整列パレットを使用し、国旗を作る
7	パレット操作②	変形・整列パレットを使用し、国旗を仕上げる
8	ツールバー操作	文字ツール/グラデーションパレットの使い方
9	オブジェクトツール	画像挿入（クリッピングマスク作成）/グループ/ロックについて
10	ロゴ作成	今までのツールを使用しオリジナルロゴマーク作成
11	うちわ制作①	パターン作成・オリジナルうちわ制作
12	うちわ制作②	オリジナルうちわ仕上げ
13	ハガキデザイン①	コンテストポストカード制作
14	ハガキデザイン②	コンテストポストカード仕上げ
15	期末考査	
16		

☐ 到達目標

Illustratorの基本操作習得

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題60% 出席状況・授業態度40%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	レジスタンストレーニングI			周防隆輝	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は前職かたぎ里塾にて1年間トレーニング指導の経験あり。

競技者としての実績も含み、トレーニング実務経験者として授業を行う

☐ 授業科目の概要

トレーニング指導の基礎知識を学ぶ

BIG3における挙上重量の向上及びトレーニング中の安全管理を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	イントロダクション	スポーツ及びトレーニング経験の確認。トレーニングの説明後、今後の目標を作成
2	基礎筋力測定	グループを組み、それぞれ1部位の重量測定。その後様々な種目を行い自身の筋力を知る。
3	基礎筋力測定②	グループを組み前回以外の部位の重量測定。その後様々な種目を通しフォームを学ぶ
4	基礎筋力測定③	前回、前々回以外の部位の重量測定。その後より具体的な将来目標の作成。
5	部位別トレーニング	ベンチプレス強化に向けた胸・肩・3頭のトレーニング
6	部位別トレーニング②	スクワット・デッドリフト強化の体幹トレーニング
7	メニューの組み立て	様々なトレーニング方法の説明及び実践
8	ウエイトトレーニングをの歴史	ウエイトトレーニングの歴史を学ぶ
9	BIG3のフォーム習得	高重量を扱うための安全なフォームの確認
10	BIG3のフォーム取得	同上
11	現場での指導法の取得	現場に出たとき実際にフォームやトレーニングの指導レクチャーの取得
12	現場想定での指導演習	実際にお客様役とトレーナーに分かれての演習
13	ウエイトトレーニング	再度フォームの確認や種目の強化に向けたトレーニング
14	MAX測定	目標到達度の確認
15	前期考査	実技試験の実施

☐ 到達目標

トレーニングプログラムの自己制作及びそのプログラムの達成

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 課題10% 出席状況・授業態度10%

各回の出席。試験達成状況による評価。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		スイミングⅠ		笠置 健之		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

- ・スポーツクラブ勤務14年間で大人、子供（幼児、小学生、中学生）への水泳指導に従事。
- ・併せて保育園、小学校、中学校の水泳授業を受託し、水泳指導に当たる。

☐ 授業科目の概要

今年度の学校方針である「スポーツの専門性」「ビジネススキル」「人間力」の向上

将来、指導者（トレーナーやコーチ）を含むスポーツ関連業務に従事することや、身近な人（家族や友人）に健康指導を行う際に、水泳を安全かつ楽しく、効率よく指導できる泳力と指導スキルを習得すること。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	○オリエンテーション ○水の特性を知り、感じよう ○泳いでみよう	・講師紹介・施設利用の注意点・体調管理・身だしなみ ・ウォーキングをして、水の特性（浮力、抵抗、水圧、水温）を体感します・伏し浮き、背浮き ・レベル別で泳ぎます
2	○泳ぐための基本動作② ○クロール①	・伏し浮き、背浮き・壁蹴りスタート・クロール、背泳ぎのキック ・板キック・呼吸付き板キック・グライドキック・呼吸付きグライドキック ・腕の動かし方（呼吸なしクロール）・腕の動きと呼吸動作の連動（板付きクロール）
3	○クロール②	・クロール①の復習 ・腕の効率の良い動かし方（スカーリング、両手ストローク） ・基本クロールの習得（C-upクロール）
4	○クロール③	・クロールの習得（キックとブルのタイミング、リカバリーの形） ・インターバルトレーニングの体験（25M×10） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
5	○背泳ぎ①	・背浮きからのキック ・背面での壁蹴りスタート ・水中での腕の動かし方
6	○背泳ぎ②	・姿勢の維持をした状態でのキック・腕の動き（気を付けの状態） ・姿勢を維持した状態で腕を交互に動かす（6秒維持、3秒維持） ・基本背泳ぎの習得（1秒維持）
7	○背泳ぎ③ ○平泳ぎ①	・背泳ぎの習得（ブルの動作とタイミング） ・反復練習（指導する際の確認すべき点） ・キックの動き（ウェッジキックとウィップキック）※陸上・板付きキック・スタート（一掻き一蹴り）
8	○平泳ぎ② ○上達のための基本動作①	・グライドキック・呼吸付きグライドキック・腕の動き ・基本平泳ぎの習得（ストローク数が適正）※脱力されている ・スカーリングの習得（キャッチ、スカーリングブル、フィニッシュ）・巻き足
9	○平泳ぎ③	・平泳ぎの習得（キックとブルのタイミング、より抵抗の少ない動作） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
10	○バタフライ① ○上達のための基本動作②	・ドルフィンキック・板付きドルフィンキック・呼吸付きドルフィンキック ・スタート（3種類）・背泳ぎのスタート・タッチターン・フリップターン
11	○バタフライ②	・身体の内側（浮力）を利用する（イルカ跳びから） ・腕とキックのタイミングを習得する（片手バタフライ※呼吸横と前） ・基本バタフライの習得（ストローク数が適正）※脱力されている
12	○バタフライ③	・バタフライの習得（キックとブルのタイミング、より抵抗の少ない動作） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
13	○補習 ○泳力向上①	・①～⑫までで習得で出来なかった内容について対応 ・メニューを基に泳力向上を目指し練習する（メニューの組み方の習得）
14	○補習 ○泳力向上②	・①～⑫までで習得で出来なかった内容について対応 ・メニューを基に泳力向上を目指し練習する（メニューの組み方の習得）
15	テスト	・100M個人メドレー ・A:シャトルスイム50M×20本（1'20"）、B:シャトルスイム25M×20本（1'）

☐ 到達目標

- ・100M個人メドレー（50%）
- ・シャトルスイムA（50M×20本（1'20"）、B25M×20本（1'））のいずれか（50%）

☐ 成績評価の方法・基準

試験80％ 課題00％ 出席状況・授業態度20％

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	教養Ⅱ		星野		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	02×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は情報サービス企業に勤務し数年間、サポートデスクに携わった実績を踏まえ、サービス業務実務者の観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

サービス接客検定2級の合格を目指すことを大きな目標とする。検定試験の後の授業では、学んだことを活かして就職活動や新社会人になったときに必要なマナーや立ち居振る舞いを中心に講義と実践形式で学んでいく。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	サービス接客検定2級の概要説明／授業の進め方と評価方法の説明／過去問題に挑戦
2	「理論」の対策	ウォームアップ(時事問題・一般教養)／「理論(選択問題)」分野の対策
3	「実技」の対策	ウォームアップ(時事問題・一般教養)／「実技(記述含む)」分野の対策
4	総復習／小テスト①	ウォームアップ(時事問題・一般教養)／過去問題挑戦／小テスト①(一般教養)
5	試験振り返り	検定試験の振り返り
6	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い	もしも、自分が新入社員を採用するなら?～採用担当の視点から考える説明会参加から応募のマナー～
7	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い	もしも、自分が新入社員を採用するなら?～面接官の立場から印象の良い応募者の態度・マナー・立ち居振る舞いを考える～
8	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い／小テスト②	面接の逆質問にも使える質問力アップトレーニング／小テスト②(説明会と面接のマナー)
9	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い	基本的な電話対応(かけ方・受け方・困ったときの対処法)
10	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い	基本的な名刺交換のやり方(一人or複数人での受け取り方・渡し方)
11	就職活動で使えるマナー・立ち居振る舞い／小テスト③	社会人が知っておきたい教養やマナーについて／小テスト③(電話対応・名刺交換)
12	「神対応」について考える①	「神対応」と呼ばれるサービス事例とその裏側について考え、自分の行動へ落とし込む ・ポイント：想像力、相手の立場に立つ、見返りを求めない対応
13	「神対応」について考える②	「神対応」と呼ばれるサービス事例とその裏側について考え、自分の行動へ落とし込む ・ポイント：想像力、相手の立場に立つ、見返りを求めない対応
14	総復習	サービス接客検定2級の総復習
15	期末テスト	期末テスト(11月のサービス接客検定2級の合格者は試験免除→出欠をとるため必ず出席すること)

☐ 到達目標

- ・サービス接客検定 2級合格レベルの知識を身につける
- ・基本的な敬語や丁寧な応対ができる

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 小テスト15% 出席状況・授業態度25%
(11月のサービス接客検定2級に合格した者は期末試験免除)

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ビジネスコミュニケーションⅡ			CSC		
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義			2	2×15	週 1コマ＝2時限×15週 週 2コマ＝4時限×15週

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1 年前期「ビジネスコミュニケーションⅠ」の流れを引き継ぎ、業界EXPOの準備を通して就職活動に必要な知識を身につけていきます。

業界EXPO後はリフレクションを通して個人の課題を見つけ、最終的には就職活動を一人でも行える能力を身に付けます。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	意識づけ（就職活動、業界EXPO）	就職活動（社会保険、キャリア形成、準備）、業界EXPO（5つの人間力など）、就職活動スケジュール確認など
2	就職活動のスーツやメイクと就職活動の軸	就職活動を行うためのスーツやメイクについてレクチャーする。後半は学生個人の就職活動の軸について考える
3	書類作成①	志望動機と自己PRの作成手順の説明し、実際に作成してみる
4	書類作成②	前回作成した自己PR（履歴書自己PR欄＝業界EXPO参加票）を添削し、参加票に清書書きを行う
5	業界EXPO準備①	スーツ登校させ事前チェックを行う、参加票の清書書きを行う、企業研究シート作成の説明を行う
6	業界EXPO準備②	企業研究シートの作成、業界EXPOでの質問時のマナーを説明し質問を考える、業界EXPO当日の注意事項などを学生パンフを使い確認していく
7	業界EXPO振り返り	業界EXPOの振り返り（リフレクション）を行い、後半は就職活動マナー（メール、電話、封筒、送り状、お礼状、企業説明会参加のマナーなど）を学ぶ
8	書類作成③	志望動機と自己PR以外の履歴書の書き方をレクチャーする
9	就職活動対策①	エントリーシートの書き方と活動の流れをしっかりと理解する※ペット愛玩は研修注意事項と電話のかけ方
10	就職活動対策②	面接対策①（基本5項目の書き方の説明と作成）
11	就職活動対策③	面接対策②（実践：面接官と受験者を実際に体験してみる）
12	就職活動対策④	グループディスカッション（GD）対策、求人票の見方、今後の就職活動スケジュールの確認など
13	スタログ説明	今年度から導入した就職活動アプリ「スタログ」の使用説明を行う※業者作成の動画
14	期末考查の準備	就職試験でよく聞かれる5項目について考え完成させる
15	期末考查	就職試験基本5項目をそれぞれ指定の字数で書く

☐ 到達目標

就職活動への意識を高め、活動のノウハウを身に付ける。

☐ 成績評価の方法・基準

日頃の授業態度と考查の結果を総合的に評価する。

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		コンピュータ演習Ⅱ		瀧田 崇		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2 時限×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

Excelの基本操作から初歩的な関数までを学ぶ。併せてWordの基本操作と代表的なビジネス文書の構造を学ぶ。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	Vlookup関数①	Vlookup関数の基本操作
2	Vlookup関数②	四則演算と合わせたVlookup関数の操作、if関数との使い分け
3	Countif関数①	Countif関数の基本操作
4	Countif関数②・Simif関数	Countif関数Simif関数の違いと使い分け
5	条件付き書式設定	セルの条件付き書式設定の基本操作
6	セルの参照	セル参照の概念とExcelを用いた見積書等ビジネス文書内での活用
7	Excelのデータベース機能①	フィルタ機能を用いたExcelのDB機能について
8	Excelのデータベース機能②	表のテーブル化、重複データの処理
9	ピボットテーブル機能	ピボットテーブルとその活用
10	Excelのデータベース機能まとめ	ビジネスでの活用事例を用いたExcelDB機能の活用
11	Wordの基本操作	ビジネス文書を例にしたWordの基本操作
12	ビジネス文書の体裁	Wordを用いた社外文書の作成、インデント機能
13	ビジネス文書の作成	表やタブ設定を含んだ社外文書の作成
14	Excel/Wordの復習	ここまで学んできたExcel・Wordを活用した復習
15	定期考査	

☐ 到達目標

Excel初中級レベルの関数習得およびWordの基本操作

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	グループエクササイズ指導Ⅲ			村田きよみ	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクタートレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
2	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
3	講義 有酸素運動について	有酸素効果、エネルギー供給
4	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
5	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
6	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
7	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
8	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
9	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
10	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
11	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
12	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
13	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
14	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
15	後期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1 年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	グループエクササイズ指導Ⅳ			村田きよみ		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクタートレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
2	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
3	講義 有酸素運動について	有酸素効果、エネルギー供給
4	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
5	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
6	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
7	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
8	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
9	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
10	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
11	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
12	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
13	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
14	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
15	後期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ホスピタリティⅡ			宮岡 正樹		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社東急スポーツオアシス15年、エイワンスポーツプラザ5年 通算20年の運営、経営経験。その後、フリーランスでスポーツメディア株式会社アドバイザー（他5社）、全国30社以上のスポーツビジネスの開業、運営支援、人材育成を行う。

☐ 授業科目の概要

スポーツビジネスのKFSであるホスピタリティを様々なポイントから重要性活用方法を学びます。安易なサービスではなく、顧客理解と一緒に働くメンバーの理解を深めるポイントについても対面、オンデマンド、グループワークなど様々な形式でも対応できる講義を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	前期テスト振り返り	サービスとホスピタリティの違いを中心とした前期テストの振り返り、確認。
2	文書コミュニケーション	様々な事例を文書で相手に伝えるとき表現、構成、取扱について。
3	対面（対人）コミュニケーション	直接の接客（コミュニケーション）で相互の理解を円滑にするためのコミュニケーションのポイント。
4	チームコミュニケーション	チームを円滑に進めるうえで理解、実践することで成功に導くポイントを知る。
5	階層コミュニケーション	チーム内でのポジションによっての立ち振る舞いを使い分ける。
6	トータルコミュニケーション	ホスピタリティの観点から後期のこれまでの内容で学んだことを実践でどう生かすか？ 実践力を養う。
7	フォローアップ	チームメンバーの個々の特性を理解し、個人力を発揮させるポイントを理解する。
8	チームマネジメント	リーダー（管理者）の観点でチームメンバーを牽引し業務推進力、目標達成力をつけるポイントを理解する。
9	ポジティブシンキング	様々な日常での事象、予想しない状況に遭遇した際に、物事を前向きに捉え、行動する事で行動、結果が変化することを理解する。
10	交渉力	win-winの関係性の構築、信頼関係を構築しながら交渉を行い、業務を円滑に進めるポイントを理解する。
11	自分の武器・相手の武器	様々な評価ツールを用いて個々の長所、短所を定期的に観測し、仕事への活かし方。
12	行動する思考を身につける	WHY思考とHOW思考の違いを様々な状況を想定しロールプレイングを実施し学ぶ。
13	満足と感動の違い	サービスがもたらす満足、ホスピタリティがもたらす感動、それらの違いと顧客の継続的欲求をマネジメントする。
14	年間振り返り、総括	1年間を通して学んだホスピタリティについて業界での成功事例を紹介しながら振り返り理解を深める。
15	後期考査	後期考査実施。

☐ 到達目標

相手のニーズを理解、最善策を考え行動に移す習慣を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	フィジカルマネジメントⅡ			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

□ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

□ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

□ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	背中	(厚み)デッド、ベントオーバー、ワンハンドロウ、ロウイング、プルオーバー
2	脚トレ	スクワット、ランジ他。TRX
3	パワークリーン	グラブラー他
4	胸	ベンチ、インクラインスミス、ダンベルプレス、ケーブル、チェストプレス
5	ボクシング①	(トレーニング)肩、腹筋、ボクシング体験 スポーツ室
6	背中トレ	懸垂のやり方、ラットプル、ワンハンドケーブルロウ、トップサイド
7	腕トレ、腹筋	(トレーニング)バーベルトライセプト、ケーブル、プレスダウン、リバースプッシュアップ、バーベルカール、プリチャーカール、インクラインアームカール、ハンマー
8	小物トレーニング	イナーシャウェーブ、サスペンショントレーニング
9	首、脚	首トレ、スクワット、ハック、ランジ、EX,カール
10	MAX測定(学期末)	スクワット、デッドリフト、ベンチプレス
11	背中・脚	メニューは自分で考えて、途中で交代
12	腕、胸	腕と胸に分かれて
13	神経系トレーニング	スナッチ、パワークリーン、自重での神経系他
14	後期試験	2人1組で考えたメニューを行なう①
15	後期試験	2人1組で考えたメニューを行なう②

□ 到達目標

トレーニングを通して身体の構造及び、トレーニング方法、
トレーナーとしての立振る舞いを学ぶ。

□ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的には出席。期末試験では実践的な対話力を評価。

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	スポーツイベント企画Ⅱ			平 陵治	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（一社）bjアカデミーに8年間在籍し、バスケットボールスクールの運営や生徒募集のための体験イベント企画立案、運営に従事。
その後独立し、様々なスポーツイベントのサポートを行っている。

☐ 授業科目の概要

学校イベントであるスポーツ大会の企画と運営までを学科として担当する

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	駅からハイキング実施準備	ゴール後イベントの最終調整、各種準備物の確認
2	駅からハイキング実施準備	直前の最終準備
3	駅からハイキング運営	駅からハイキングのゴール後イベント運営を担当
4	スポーツ大会イントロダクション	クラスの全員が関わっている冬開催の「スポーツ大会」に向けての準備。スポーツ大会成功に向けた意思統一。昨年の反省。役割・各班の決定
5	スポーツ大会準備①	テーマの設定、競技種目検討、会場運営のたたき台作成、必要備品の洗い出しと購入計画作成、ポスター作成
6	スポーツ大会準備②	学校側（教育イベントチーム）との協議に向けた準備
7	スポーツ大会準備③	学校側からの指摘に対する修正
8	スポーツ大会準備④	それぞれの班の進行状況報告と問題点の洗い出し。
9	スポーツ大会準備⑤	直前準備
10	スポーツ大会の振り返り	スポーツ大会を実施した後の振り返り
11	ポップアップショップ運営の準備①	発注商品の納品確認、POP作成、ポスター作成・掲示、商品台帳等の準備
12	ポップアップショップ運営の準備②	商品展示、レジ準備
13	ポップアップショップ運営	ポップアップショップの運営、シフト勤務
14	ポップアップショップの商品返却	借りた商品の返却（棚卸をしたうえで返却）
15	振り返り	前期・後期を通した振り返り

☐ 到達目標

イベントを安全に実施すること

☐ 成績評価の方法・基準

取り組み姿勢70%、役割15%、出席状況15%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		グローバルビジネスⅡ		假屋 祐貴		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

□ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師の假屋は、Zero-Zero株式会社を4年間経営しており、スポーツビジネスにおいては通算10年以上の実務経験を有しています。

□ 授業科目の概要

授業は教室での講義形式で行われ、スポーツビジネスの基礎を学びます。受講から1年後には、より深い知識と理解を身につけることができます。
また、国内の事例だけでなく、海外のスポーツビジネスに関するノウハウも学ぶことができます。

□ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スポーツと法律	スポーツ法・労働法 / 選手契約と代理人制度
2	スポーツと法律	著作権と放映権の管理 / ドーピング・コンプライアンス
3	グローバルスポーツビジネス	海外市場のスポーツビジネス戦略 / 国際スポーツイベントの経済効果
4	グローバルスポーツビジネス	海外市場のスポーツビジネス戦略 2 / 国際スポーツイベントの経済効果 2
5	グローバルスポーツビジネス	スポーツツーリズムと地域活性化 / 多国籍企業のスポーツスポンサーシップ
6	後期プレゼン	グループプロジェクト作業
7	スポーツテクノロジーとアナリティクス	データアナリティクスの活用 / パフォーマンス分析とAI技術
8	スポーツテクノロジーとアナリティクス	eスポーツとバーチャルスポーツの成長
9	スポーツテクノロジーとアナリティクス	スポーツ×テクノロジーの新ビジネスモデル
10	後期プレゼン	グループプロジェクト作業
11	インターンシップ or プロチーム分析	1日インターン、もしくはプロの試合を観戦・分析
12	インターンシップ or プロチーム分析	1日インターン、もしくはプロの試合を観戦・分析
13	後期プレゼン	グループプロジェクト作業
14	後期プレゼン	グループプロジェクト最終チェック
15	後期プレゼン	グループプロジェクト発表

□ 到達目標

スポーツビジネスの基礎を学ぶ

□ 成績評価の方法・基準

出席状況・授業態度50%、課題50%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ウェルネスマネジメントⅡ			宮崎景		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

スポーツ指導およびスポーツイベントを主な業務としている（有）アクアティク代表で、元JOC強化スタッフ、神奈川県国スポ監督（天皇杯3度獲得）、日本スポーツ協会コーチ4（上級）等の実績で、他の大学や専門学校等でもスポーツ関連の講義を受け持っている。

☐ 授業科目の概要

超高齢化社会、医療費、等の問題解決策として、国民が健康なライフスタイルを構築していく為に必要な、スポーツ文化の定着を構築していける人材養成と、そのための知識を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スポーツの怪我、病気（内科）	急性障害、慢性障害、予防と対応
2	スポーツの怪我、病気（外科）	怪我の頻度と傾向、代表的な怪我や病気と特徴、予防
3	救急処置	蘇生法、RISE、手当と応急処置
4	スポーツと栄養	五大栄養素、摂取量、水分摂取、栄養アセスメント
5	指導計画1	指導計画の重要性、立案の原則と準備
6	安全管理1	安全確保の知識と重要性
7	発育発達期の特徴	身長、体重、骨格、神経、筋と筋力、エネルギー代謝、心理
8	地域とスポーツ	スポーツ行政と振興施策、社会的意義、指導者と行政
9	社会の中のスポーツ	現代社会とスポーツ 産業化と発展 地域生活とスポーツ口
10	スポーツプロモーション1	プロモーションの意味、情報化社会、プロモーション戦略
11	スポーツと法律	指導者の法的責任、事故判例、倫理と人権、暴力体罰、社会的規範
12	スポーツ心理の基本1	スポーツと心、動機付け、コーチングの心理
13	スポーツ心理の基本2	個人指導とチーム指導、個人差への考慮、心理的サポート
14	コーチング評価	評価の目的、分類、家庭、行動
15	後期考査□	筆記試験□

☐ 到達目標

健康スポーツの知識と指導についての基礎を知る

☐ 成績評価の方法・基準

健康スポーツの知識と指導についての基礎を知る

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	自然環境組織論Ⅱ			柿沼 直樹		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

前期で学んだ自然、環境、組織を基に、アウトドアに関する知識を深める。
個人、グループでのアウトドア企画案を作成する。グループ企画では実際に発生する費用などを理解し、どのようにして利益を得ていくかを思索する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	キャンプ実習フィードバック①	キャンプ実習フィードバック・レポート作成
2	キャンプ実習フィードバック②	キャンプ実習レポート発表
3	キャンプ実習フィードバック③	発表に対するフィードバック
4	アウトドア企画実践①	個人でのアウトドアを企画
5	アウトドア企画実践②	個人でのアウトドアを企画
6	アウトドア企画実践③	個人でのアウトドア企画を発表
7	グループ企画 アウトドア企画実践①	グループ、誰かを連れて行く（お客さん）を想定とした企画
8	グループ企画 アウトドア企画実践②	グループ、誰かを連れて行く（お客さん）を想定とした企画
9	グループ企画 アウトドア企画実践③	グループ、誰かを連れて行く（お客さん）を想定とした企画
10	グループ企画 アウトドア企画実践④	グループごとに発表
11	近隣の自然について①	近隣の自然の理解・実地調査
12	近隣の自然について②	近隣の自然の理解・実地調査
13	近隣の自然について③	近隣の自然の理解・実地調査についてレポート提出＆発表
14	授業まとめ・試験対策	授業全体の振り返り・まとめ
15	後期試験	筆記試験

☐ 到達目標

個人、お客様を対象とした企画案を作成できるようになる

☐ 成績評価の方法・基準

各レポート、発表：60点、試験：30点、出席状況：10点

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	イラストレーターⅡ		草刈		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

Illustratorスタンダードの検定取得を目指し、一般操作の知識を身につける

Illustratorを使用し、カード・チラシ・ポスターなど制作できる知識を身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	イベントPOP制作	イベント用ポスター・サイネージ制作（駅からハイキング・COS告知用）
2	イベントPOP制作	イベント用ポスター・サイネージ制作（駅からハイキング・COS告知用）
3	イベントPOP制作	イベント用ポスター・サイネージ制作（駅からハイキング・COS告知用）
4	Illustrator検定対策①	実技問題（解説・練習）
5	Illustrator検定対策②	実技問題（解説・練習）
6	Illustrator検定対策③	実技問題（解説・練習）
7	Illustrator検定対策④	実技問題
8	Illustrator検定対策⑤	実技問題
9	Illustrator検定対策⑥	実技問題
10	Illustrator検定対策⑦	実技問題
11	Illustrator検定対策⑧	実技問題
12	Illustrator検定対策⑨	模擬問題①
13	Illustrator検定対策⑩	模擬問題②
14	Illustrator検定対策⑪	模擬問題③
15	期末考査	
16		

☐ 到達目標

Illustratorスタンダードレベル

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題40% 出席状況・授業態度40%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	デジタルマーケティングⅠ			宮 秀光		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、IT系のweb制作職として、web制作会社、自社webメディア会社、eコマース会社など15年以上勤務し専門的観点から実習中心の授業をする。

☐ 授業科目の概要

ビジネスコミュニケーションの一つとしてデジタルマーケティングについて学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	デジタルマーケティングの基本①	マーケティングの定義、従来のマーケティングとデジタルマーケティングの違いについて
2	デジタルマーケティングの基本②	デジタルマーケティングのゴールとKGI、PDCA
3	デジタルマーケティング計画①	ブランディングとKPI
4	デジタルマーケティング計画②	ターゲットユーザーの設定、ペルソナ作成
5	webにおける手法の種類①	webサイトの種類と目的、UI/UXについて
6	webにおける手法の種類②	検索エンジンの役割、SEO（検索エンジン最適化）を手法
7	インターネット広告の種類①	純広告と運用型広告の違い、リスティング広告とは
8	インターネット広告の種類②	ディスプレイ広告、動画広告、アフィリエイト広告の手法と効果について
9	SNSとデジタルマーケティング①	オーガニック広告とSNS広告の特徴
10	SNSとデジタルマーケティング②	X、Instagram、YouTube、TikTokの特徴と違い
11	デジタルマーケティングの評価①	データ収集の方法を検討
12	デジタルマーケティングの評価②	Google アナリティクスのデモアカウントの使い方
13	デジタルマーケティングの評価③	Google アナリティクスのデモアカウントでデータを分析・検証
14	今後のデジタルマーケティング	AI学習機能と生成AIの躍進と活用について
15	考査・振り返り	考査の解説と授業内容の振り返り

☐ 到達目標

デジタルマーケティングの基礎を知り、即戦力になる知識を獲得する

☐ 成績評価の方法・基準

考査、出席状況・授業態度等

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	レジスタンストレーニングⅡ			周防隆輝	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は前職かたぎ里塾にて1年間トレーニング指導の経験あり。

競技者としての実績も含み、トレーニング実務経験者として授業を行う

☐ 授業科目の概要

トレーニング指導の基礎知識を学ぶ

BIG3における挙上重量の向上及びトレーニング中の安全管理を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	イントロダクション	前期授業を通した効果測定
2	各種トレーニング方法の学習	分割法にてトレーニングスケジュールを作成。手法を学ぶ
3	各種トレーニング方法の実践	自身が立てた分割メニューに沿って実践。
4	トレーニング種目の学習	腕・胸・肩・背中・脚・腹等の各部位における種目を学ぶ
5	トレーニング種目の実践	自身が立てた分割メニューに沿って普段行わないメニューの作成及び実施
6	パワーリフティングのスクワット	高重量を扱うための安全なフォームの獲得
7	パワーリフティングのデットリフト	高重量を扱うための安全なフォームの取得
8	腕のトレーニング	拮抗筋の動きを理解しやすい部位ある腕のトレーニング
9	肩のトレーニング	日常生活において重要な部位である肩のトレーニング
10	背中のトレーニング	指導する上で気を付けなければ行けない部位のトレーニング
11	現場での指導法の取得	現場に出たとき実際にフォームやトレーニングの指導レクチャーの取得
12	現場想定での指導演習	実際にお客様役とトレーナーに分かれての演習
13	ウエイトトレーニング	再度フォームの確認や種目の強化に向けたトレーニング
14	MAX測定	目標到達度の確認
15	後期考査	実技試験の実施

☐ 到達目標

トレーニングプログラムの自己制作及びそのプログラムの達成

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 課題10% 出席状況・授業態度10%

各回の出席。試験達成状況による評価。

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	1年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	パーソナルトレーニング概論Ⅱ			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

☐ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	脚トレ	スクワット、ランジ、マシン。スクワットジャンプ、デプスジャンプ
2	胸トレ	ベンチ、ダンベル、ケーブル他。TRX
3	背中	懸垂、Tバー
4	神経系トレーニング	クリーン、スナッチ、ダッシュ
5	胸と肩	胸と肩をどちらかでも両方でも
6	MAX測定	ベンチ、デッド、スクワット
7	脚トレ、腹筋	スクワット他、サイドプランク、ボディソウ
8	肩、イナーシャウエーブ	インクラインサイドレイズ、ライイングリアレイズ、イナーシャウエーブ
9	胸トレ	(トレーニング)ベンチ、インクラインダンベルフライ、ケーブルクロス
10	MAX測定(学期末)	スクワット、デッドリフト、ベンチプレス
11	HIIT	ダッシュ他
12	MAX測定	スクワット、デッドリフト中心に
13	神経系トレーニング	クリーン、スナッチ
14	MAX測定	ベンチ、デッド、スクワット
15	後期試験	ペーパーテスト

☐ 到達目標

トレーニングをして身体の構造、栄養のことを学ぶ。
運動をする大切さを知る。

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的に出席。期末試験は理解度を評価。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	教養Ⅲ			柿沼 直樹		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

コミュニケーション力、知識など就職に向けて社会人を身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	アカデミアプログラムの説明 富士五湖サミット 東京地区予選にむけての 動画作成	グループに分かれ、各イベントへの発案から資料の制作。
2	富士五湖サミット 東京地区予選 にむけての動画作成	各イベントの資料制作と仕上げ。
3	企業研究	エントリーした企業やブランドについて、より深く知る。
4	コミュニケーション力の向上	論理的に話すことを学ぶ
5	面接対策	就職活動における面接の練習
6	一般教養①	障がいのある人との交流
7	一般教養②	各障がいの理解(肢体不自由、視覚障害、聴覚・音声障がい、内部障がい)
8	一般教養③	各障がいの理解(肢体不自由、視覚障害、聴覚・音声障がい、内部障がい)
9	一般教養④	各障がいの理解(知的障がい・発達障がい)
10	一般教養④	各障がいの理解(精神障がい)
11	PC演習	WordもしくはPowerPoint
12	PC演習	WordもしくはPowerPoint
13	PC演習	WordもしくはPowerPoint
14	PC演習	WordもしくはPowerPoint
15	前期末考査	

☐ 到達目標

社会人としての必要なコミュニケーション力と知識を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50％ 出席状況・授業態度50％

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ビジネスコミュニケーションⅢ			キャリアサポートセンター		
授業の種類	授業の方法（講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載））			単位数	時限×回数	備考
基本授業	その他（就職関連）			1	2×15	週1コマ＝2時限×15週 週2コマ＝4時限×15週

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1年後期からの準備を踏まえて、実際に就職活動を行っていく。学生一人一人が現在の自分の就職活動状況に合わせ活動を行い、個別の面談も並行して行っていく。時には企業を呼び説明会を行うなど、就職決定に向けた実践的な授業を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
2	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
3	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
4	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
5	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
6	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
7	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
8	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
9	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
10	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
11	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
12	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
13	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
14	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
15	就職対策講義	講義をしながら就職対策を実践的にしていく。企業に来ていただき説明をしていただく。
16		

☐ 到達目標

就職決定を到達目標とする

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題00% 出席状況・授業態度100%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	コンピュータ演習Ⅲ			草刈		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

未取得のサートファイ検定取得・ブラインドタッチ練習

Excel3級/Powerpoint初級/Word3級の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	キーボード操作確認	ブラインドタッチ練習・文字入力基礎
2	Excel検定内容確認	ブラインドタッチ練習・Excel模擬問題①（解説）
3	Excel基礎①	ブラインドタッチ練習・Excel基本操作①（ホーム操作・基本操作）
4	Excel基礎②	ブラインドタッチ練習・Excel基本操作②（関数基礎・数式）
5	Excel検定対策①	ブラインドタッチ練習・Excel模擬問題（解説）
6	Excel検定対策②	ブラインドタッチ練習・Excel模擬問題（解説）
7	Excel検定対策③	ブラインドタッチ練習・Excel過去問題
8	Excel検定対策④	ブラインドタッチ練習・Excel過去問題
9	Excel検定対策⑤	ブラインドタッチ練習・Excel過去問題
10	Excel検定対策⑥	ブラインドタッチ練習・Excel過去問題
11	Excel検定対策⑦	ブラインドタッチ練習・Excel過去問題
12	PowerPoint基礎①	スライド作成の基礎と文字デザイン
13	PowerPoint基礎②	図解とデータ（図形・表・グラフ）
14	PowerPoint基礎③	動きの効果とプレゼンテーション
15	期末考査	

☐ 到達目標

Excel3級/Powerpoint初級/Word3級レベルの知識習得

未取得のサートファイ検定取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験60％ 課題10％ 出席状況・授業態度30％

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	グループエクササイズ指導Ⅴ			村田きよみ		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクタートレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 自体重トレーニング	実技クランチ
2	実技 自体重トレーニング	クランチの指導
3	実技 自体重トレーニング	実技フワードランジ
4	実技 自体重トレーニング	フワードランジの指導
5	実技 自体重トレーニング	実技スクワット
6	実技 自体重トレーニング	スクワットの指導
7	実技 自体重トレーニング	実技バードドック
8	実技 自体重トレーニング	バードドックの指導
9	実技 自体重トレーニング	実技プッシュアップ
10	実技 自体重トレーニング	プッシュアップの指導
11	実技 自体重トレーニング	5種エクササイズの指導
12	まとめ	5種自体重トレーニングのまとめ
13	エアロビクダンス	エアロビクダンスを知る
14	エアロビクダンス	エアロビクダンス指導練習
15	前期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビクダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	グループエクササイズ指導Ⅵ			村田きよみ		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクター・トレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 自体重トレーニング	実技クランチ
2	実技 自体重トレーニング	クランチの指導
3	実技 自体重トレーニング	実技フワードランジ
4	実技 自体重トレーニング	フワードランジの指導
5	実技 自体重トレーニング	実技スクワット
6	実技 自体重トレーニング	スクワットの指導
7	実技 自体重トレーニング	実技バードドック
8	実技 自体重トレーニング	バードドックの指導
9	実技 自体重トレーニング	実技プッシュアップ
10	実技 自体重トレーニング	プッシュアップの指導
11	実技 自体重トレーニング	5種エクササイズの指導
12	まとめ	5種自体重トレーニングのまとめ
13	エアロビクダンス	エアロビクダンスを知る
14	エアロビクダンス	エアロビクダンス指導練習
15	前期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビクダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネスビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツ施設概論Ⅰ			宮岡 正樹		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	1×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社東急スポーツオアシス15年、エイワンスポーツプラザ5年 通算20年の運営、経営経験。その後、フリーランスでスポーツメディア株式会社アドバイザー（他5社）、全国30社以上のスポーツビジネスの開業、運営支援、人材育成を行う。

授業科目の概要

スポーツビジネスの収益構造を複数の業種の具体的事例から学び、開業から運営のポイントを理解する。

運営（プレイング）だけでなく経営的視点を持ち、経営企画・管理を行える能力を身につける。

授業の計画

週	項目	授業概要
1	売上、費用、利益の構造	日常生活のさまざまな事象を売上、費用、利益で分析し理解を高める。
2	スクール事業のサービスと費用	スクール事業を事例に売上、費用の構造を理解し、利益確保の必要性を理解する。
3	パーソナル、物販事業の収支構造	パーソナルサービス、物販事業における収支構造を理解し対面、ネットビジネスの変遷を理解する。
4	事例Ⅰ	2，3週目の講義で学んだ内容を踏まえた事業再生事例を紹介。今後の展開を考える。
5	公共施設事業の収支構造	公共体育施設の収支構造、委託事業である理解をする。
6	24時間フィットネスの収支構造	24時間フィットネスの収支構造、今後の展開を理解する。
7	事例Ⅱ	5，6週目の講義で学んだ内容を踏まえた事業再生事例を紹介。今後の展開を考える。
8	レポート作成	7週目までの授業内容を振り返り、自分で企業を選定し収支構造のレポートを作成する。
9	レポート発表	8週目で作成したレポートの発表会を行い作成能力、プレゼンテーション能力を高める。
10	プロスポーツビジネスの収支構造	プロスポーツ（野球、フィットネス）の収支構造を紹介、理解を深める。
11	フリーランスは成功するのか？	スポーツビジネスに関わる個人事業主の活動、収支構造を紹介、理解を深める。
12	淘汰される事業とは	アフターコロナで淘汰されたスポーツビジネス、生まれたスポーツビジネスを紹介、理解する。
13	レポート作成	スポーツ施設、ビジネスの事例を1つ取り上げてレポートを作成する。
14	レポート発表	レポート発表、前期の振り返り。
15	前期考査	前期考査

到達目標

スポーツビジネスの収支構造を理解し、運営、管理能力を身につける。

成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツイベント企画Ⅲ			平 陵治		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（一社）bjアカデミーに8年間在籍し、バスケットボールスクールの運営や生徒募集のための体験イベント企画立案、運営に従事。
その後独立し、様々なスポーツイベントのサポートを行っている。

☐ 授業科目の概要

JR東日本代々木駅との産学連携「駅からハイキング」に取り組む
今年度は120周年となり、特別な年として時期やイベント内容に工夫を凝らす

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション、企画するイベントについて	授業の進め方について、J R東日本主催「駅からハイキング」についての解説、昨年の反省の共有
2	「駅からハイキング」のコース検討	フィールドワークで経由するスポットの候補を探索する
3	「駅からハイキング」コース決定するための討議、コース決定	フィールドワークで探索した候補を挙げて全員で討議し、コースを決定
4	「駅からハイキング」コース決定するための討議	フィールドワークで探索した候補を挙げて全員で討議
5	「駅からハイキング」企画書作成	JR東日本代々木駅提出用資料の作成→提出
6	「駅からハイキング」ゴールイベント考案	「駅からハイキング」時のゴール後イベントの考案と、参加者に配布する記念品の考案
7	「駅からハイキング」ゴールイベント決定	「駅からハイキング」ゴール後イベントと記念品についてのプレゼンテーション、決定
8	「駅からハイキング」クーポン券企画説明と地域貢献について	「駅からハイキング」が地域に貢献する意味、クーポン券の考え方
9	クーポン券企画①	「クーポン券協賛企画書」の作成、企画書の書き方
10	クーポン券企画②	企画書を持参してルート周辺の店舗等に協賛の交渉
11	クーポン券企画③	企画書を持参してルート周辺の店舗等に協賛の交渉
12	駅からハイキング実施準備①	到着時に掲出するポスター作成、1 Fサイネージで流す動画作成
13	駅からハイキング実施準備②	ゴール後イベントのシミュレーション、運営マニュアル作成
14	駅からハイキング実施準備③	ゴール後イベントのシミュレーション、運営マニュアル作成
15	駅からハイキング実施準備④	必要備品の種類、個数をまとめる、いつ必要になるのかの確認、先に必要なものは発注 駅からハイキング期間中のシフト作成

☐ 到達目標

イベントの企画から運営までを主体的に行えるようになること

☐ 成績評価の方法・基準

取り組み姿勢70%、役割15%、出席状況15%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツ概論 I			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

☐ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スクワット	健スポがトレーナーとなってスクワットを教える
2	ベンチプレス	筋肉痛の話（ジム）ベンチプレス
3	デッドリフト	柔軟性の話（ジム）デッドリフト・ランジ
4	背中トレ	柔軟性、しゃがむ、片脚スクワット（ジム）懸垂、トップサイド、ラットプル、ロウイング、ダンベルロウ
5	脚トレ	免疫力の話（ジム）スクワット、ハックスクワット、ランジ、エクステンション、カール、リバースノルディックカール、カーフ
6	胸トレ	インシュリンの話（ジム）ベンチ、インクラインフライ、スミスインクライン、ケーブルクロス、チェストプレス
7	肩トレ	水の話（ジム）スミスショルダー、フロントレイズ、ケーブルリア、サイドレイズ、プレートローディング
8	腕トレ	日焼けの話（ジム）二頭、三頭(各4種)
9	胸トレ	(ジム)ベンチ、インクラインフライ、スミスインクライン、ケーブルクロス、チェストプレス
10	脚トレ	スクワット、ランジ、ハック、ヒップスラスト、ノルディックハム、リバースノルディックカール、EX、カール、腹筋
11	背中トレ	ラックプル、Tバー、Wダンベルロウ、懸垂、ラットプル、ロウイング、プルオーバー、シュラッグ
12	MAX測定	BIG3
13	胸トレ	ベンチプレスメイン
14	2人1組でトレーニング	自由
15	前期試験	ペーパーテスト

☐ 到達目標

トレーニングをして身体の構造、栄養のことを学ぶ。
運動をする大切さを知る。

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的に出席。期末試験は理解度を評価。

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	スポーツ業界研究Ⅰ		酒井 浩之		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はスペインのプロサッカーチーム「レアルマドリッド」の社員として活躍されたほか、サッカーの公認代理人として数多くの選手と契約し、スポーツ業界において精通している 自身が通ってきた道でもあり、その中で現在は起業した実績を持つ私の経験そのものが参考になると思います。

☐ 授業科目の概要

スポーツ業界への就職を目指し、業界を理解し、就職活動に活かせるようにする

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	自己紹介	自己紹介と、スポーツの世界を“企業”としてみたらどうなのか？という考え方
2	企業情報のどこを見ればいい？	企業としてみた場合、どんなところを見れば何がわかるのか？
3	売り上げ100億ってどんな規模？	売り上げ10億、30億、100億 実感地がない中でどのようにこの数字を判断するのか
4	金融的な資産価値とは	金融業界から見たら、どんな企業が安心な企業？
5	どんな業界がある？	大前提として、どんな業種が存在している？
6	スポーツの仕事って何がある？	そもそもどんな仕事があるのだろう？
7	スポーツブランド	スポーツブランドの仕事ってどんな仕事？
8	スポーツショップ	スポーツショップの仕事ってどんな仕事？
9	スポーツチーム	プロチームを支えるマネージャーや広報、スポーツ用品開発、スポーツ栄養士、健康運動指導士
10	その他スポーツチーム	プロチームを支えるマネージャーや広報、スポーツ用品開発、スポーツ栄養士、健康運動指導士
11	スポーツ施設	スポーツ施設の運営はどんなことが必要？
12	スポーツメディア	スポーツメディアの仕事ってどんな仕事？
13	指導者	指導者系はどんな未来が待ってる？ どんな特徴がある？
14	その他現場	トレーナー・分析など
15	その他	そのほかどんな仕事がある？

☐ 到達目標

業界を理解し、自身の就職活動に繋げる

☐ 成績評価の方法・基準

試験なしの毎週のレポート提出で判断

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント 専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ウェルネスマネジメントⅢ			宮崎景		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

□ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

スポーツ指導およびスポーツイベントを主な業務としている（有）アクアティック代表で、元JOC強化スタッフ、神奈川県国スポ監督（天皇杯3度獲得）、日本スポーツ協会コーチ4（上級）等の実績で、他の大学や専門学校等でもスポーツ関連の講義を受け持っている。

□ 授業科目の概要

スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善、健康寿命の延伸や医療費抑制への貢献が期待されており、それに伴う効果的なプログラムの知識、指導方法を学び、スポーツの持つ役割と社会性を身に付ける

□ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	指導計画2	種類、実施、変更、検証
2	安全管理2	施設と用具、安全確保のための行動
3	スポーツ組織の運営	スポーツクラブ、活動拠点、指定管理者制度、事業計画
4	スポーツ組織の事業	組織のマネージメント、経営戦略、経営資源、サービス、マーケティング
5	スポーツプロモーション2	日本と諸外国のプロモーション、課題と展望
6	スポーツと法	スポーツ基本法、スポーツ振興法、スポーツ権
7	対象に合わせたスポーツ指導1	ジュニア、ユース、思春期、成長期とスポーツ
8	対象に合わせたスポーツ指導2	運動と老化、運動プログラム、中高年者とスポーツ
9	対象に合わせたスポーツ指導3	性差、体格と身体組成、トレーナビリティ、女性とスポーツ
10	対象に合わせたスポーツ指導4	障害者とスポーツ、理解、現状、課題、注意点
11	スポーツ指導の役割2	指導者と対象者の関係、ミーティングのポイント、モラル
12	コーチングスキル	観察、承認、オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン、アドバイス、沈黙
13	スポーツ心理1	メンタルマネージメント、リラクゼーション、イメージトレーニング
14	スポーツ心理2	集中力、心理的コンディショニング、あがり、スランプ
15	前期考査	課題作成及び提出

□ 到達目標

健康スポーツの知識を深め、指導の仕方と実践を理解する

□ 成績評価の方法・基準

課題40% 出席状況・授業態度60%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	プロジェクトマネジメントⅠ			荒川裕治		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

任意団体であった「さいたまサッカークラブ」（前身は埼玉県教員サッカークラブ／日本サッカーリーグ2部にも所属）をNPO法人化し、理事長として運営、経営も行った経験を持つ。また、現J3「ツエーゲン金沢」の立ち上げにも参画。（公財）埼玉県サッカー協会元理事

☐ 授業科目の概要

「弱くても稼げます シン・サッカークラブ経営論」（小山淳ほか著）をテキストにして、講義を進める
クラブ経営に興味を持つ学生が多いことを鑑みて、スポーツとお金についての知識を持たせたい

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	考え方①	自己紹介とコミュニケーション
2	考え方②	①を踏まえて、個々へのアプローチ。
3	テキストを使用して①	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
4	テキストを使用して②	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
5	テキストを使用して③	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
6	テキストを使用して④	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
7	テキストを使用して⑤	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
8	テキストを使用して⑥	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
9	テキストを使用して⑦	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
10	テキストを使用して⑧	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
11	テキストを使用して⑨	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
12	テキストを使用して10	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
13	テキストを使用して11	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
14	テキストを使用して12	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
15	前期テスト	

☐ 到達目標

テキストを読み切る

☐ 成績評価の方法・基準

各回の出席、期末考査結果などを総合的に評価する

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	プロダクトプランニングⅠ			山澤 千昭	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

(株)ナイキジャパンに23年間勤務 営業、マーケティング、商品企画開発に従事 これらの経験を踏まえ具体的な事例を基に実践方法を学ばせる
また、米本社での3年間の経験を伝えることでグローバル思考、広い視野を持つことを理解させる

☐ 授業科目の概要

スポーツシューズの企画を学ぶことでスポーツマーケットでの各業態のビジネスを理解する

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	マーケットリサーチ	マーケットリサーチとは
2	マーケットリサーチ	マーケットリサーチの方法
3	商品企画基礎	マーケットニーズ、消費者ニーズとは
4	商品企画基礎	マーケットニーズ、消費者ニーズの導き出し方
5	商品企画基礎	商品企画の立て方
6	商品企画 1	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
7	商品企画 2	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
8	商品企画 3	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
9	商品企画 4	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
10	商品企画 5	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
11	商品企画 6	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
12	商品企画 7	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
13	商品企画 8	プランニング（グループ or 個人 で企画を実施）～ プレゼンテーション
14	商品企画	前期考査前復習
15	商品企画	前期考査

☐ 到達目標

商品企画の立案方法を学ぶことでイベントやPOP等の
企画を立案できるようにする

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	Mac I		本山 繁		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

フリーランスのグラフィックデザイナーで8年間の就労経験がある担当講師が、DTPの知識と経験を生かした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

MacintoshをベースとしたPhotoshopの操作を習得する。操作方法の基礎を学んだあと検定対策テキストを使用した実践課題に挑戦する。同時にGoogleドライブの使用方法など、学科イベントにおけるツール制作に役立つ知識も習得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション/ 基本操作1	01_Photoshopについて 02_基本操作を学ぼう 03_画像の色補正を学ぼう
2	基本操作2	04_選択範囲とマスク（切り抜き）を学ぼう 05_図形と文字とブラシを学ぼう
3	基本操作3	06_画像加工とレタッチを学ぼう 07_実際に作ってみよう（写真加工編）
4	基本操作4	08_実際に作ってみよう（デザイン編）
5	検定試験対策1	スタンダード模擬問題1
6	検定試験対策2	スタンダード模擬問題2
7	検定試験対策3	スタンダード模擬問題3
8	検定試験対策4	スタンダード模擬問題4
9	検定試験対策5	エキスパート模擬問題1
10	検定試験対策6	エキスパート模擬問題2
11	検定試験対策7	エキスパート模擬問題3
12	検定試験対策8	エキスパート模擬問題4
13	総復習	
14	期末考査	
15	総評／ 再期末考査(不合格者のみ)	

☐ 到達目標

Photoshopの基本操作をマスターする

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	スポーツスタートアップ戦略Ⅰ			平 陵治	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

Growthバスケットボールアカデミーを起業した経験から授業を展開

☐ 授業科目の概要

起業する為に必要な心構え、スキルを学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	自己紹介、ドリームマップ	10年後どんな生活をしていきたいかイメージしてみる。
2	スタートアップとは	スタートアップに必要なことを知る
3	どんな人の為に	ターゲットについて考える
4	価値提供	ニーズを考え、分析する
5	アイデア出し	自由にアイデアを考え、発表
6	サービス提供	商品やサービスで何を解決できるか考える
7	競合、自社の強み	競合他社と比較し、どのように勝っていくか
8	お金	スポーツビジネスのお金の仕組みを知る
9	イベント企画	アイデアを出し、イベントを企画
10	コピーライティング	広告やSNSの打ち出し方を学ぶ
11	チームで企画	チームでアイデアを出し、イベントを企画
12	チームで企画	チームでアイデアを出し、イベントを企画
13	発表準備	プレゼン資料や話し方を練習する
14	発表準備	グループごと発表
15	振り返りとこれから	学んだことのまとめ、これからのアクション整理

☐ 到達目標

一からビジネスを始める為に必要な知識を身につけ、チームで企画する

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 出席状況・授業態度70%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント 専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	スポーツツーリズムⅠ		宮崎景		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（有）アクアティック代表で、長年に渡り各地で開催される各種スポーツイベントに携わっており、企画作成、運営業務、実行委員会組織、行政施策対応、地域活性化、経済効果等、さまざまな立場、観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

観光立国基本計画・スポーツ立国戦略に伴う、観光庁やスポーツ庁の創設といった政策を基に、スポーツツーリズムの分野は地域活性化からも注目をされており、各産業界からも専門知識を有する人材の要望が高まっており、そのニーズに対応出来る為の基礎知識を学ぶ事を基本としている。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スポーツツーリズムとは1	なぜスポーツツーリズムなのかの基本を知る
2	スポーツツーリズムとは2	国内外スポーツツーリズムの現状
3	スポーツツーリズムとは3	するスポーツツーリズムについて（参加型）
4	スポーツツーリズムとは4	観る・支えるスポーツツーリズム（観戦型・ボランティア参加）
5	スポーツツーリズムの今後1	スポーツツーリズムやスポーツイベントの類型
6	スポーツツーリズムの今後2	観光地のマネジメント 誘致組織
7	スポーツツーリズムの国際化1	大型スポーツイベントの状況 他
8	スポーツツーリズムの国際化2	ワールドマスターゲームス等の具体的な国内メガスポーツイベントの状況 他
9	スポーツイベント誘致と観光1	基本的機能 旅行目的のスポーツ
10	スポーツイベント誘致と観光2	スポーツツーリズムへの参加動機と実態
11	スポーツツーリズム企画1	マーケットの必要性、考え方、ターゲット
12	スポーツツーリズム企画2	4つのP ブレインストーミング 発想の事例
13	スポーツツーリスト1□	意思決定メカニズム 行動モデル□
14	スポーツツーリスト2□	プロモーションの仕掛け
15	前期審査□	筆記試験

☐ 到達目標

スポーツツーリズムの概略と実情の理解

☐ 成績評価の方法・基準

試験40% 出席状況・授業態度60%

2026年度	全期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スイミングⅡ			笠置 健之		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

・スポーツクラブ勤務14年間で大人、子供（幼児、小学生、中学生）への水泳指導に従事。
・併せて保育園、小学校、中学校の水泳授業を受託し、水泳指導に当たる。

☐ 授業科目の概要

今年度の学校方針である「スポーツの専門性」「ビジネススキル」「人間力」の向上

将来、指導者（トレーナーやコーチ）を含むスポーツ関連業務に従事することや、身近な人（家族や友人）に健康指導を行う際に、水泳を安全かつ楽しく、効率よく指導できる泳力と指導スキルを習得すること。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	○オリエンテーション ○水の特性を知り、感じよう ○泳いでみよう	・講師紹介・施設利用の注意点・体調管理・身だしなみ ・ウォーキングをして、水の特性（浮力、抵抗、水圧、水温）を体感します・伏し浮き、背浮き ・レベル別で泳ぎます
2	○泳ぐための基本動作② ○クロール①	・伏し浮き、背浮き・壁蹴りスタート・クロール、背泳ぎのキック ・板キック・呼吸付き板キック・グライドキック・呼吸付きグライドキック ・腕の動かし方（呼吸なしクロール）・腕の動きと呼吸動作の連動（板付きクロール）
3	○クロール②	・クロール①の復習 ・腕の効率の良い動かし方（スカーリング、両手ストローク） ・基本クロールの習得（C-upクロール）
4	○クロール③	・クロールの習得（キックとブルのタイミング、リカバリーの形） ・インターバルトレーニングの体験（25M×10） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
5	○背泳ぎ①	・背浮きからのキック ・背面での壁蹴りスタート ・水中での腕の動かし方
6	○背泳ぎ②	・姿勢の維持をした状態でのキック・腕の動き（気を付けの状態） ・姿勢を維持した状態で腕を交互に動かす（6秒維持、3秒維持） ・基本背泳ぎの習得（1秒維持）
7	○背泳ぎ③ ○平泳ぎ①	・背泳ぎの習得（ブルの動作とタイミング） ・反復練習（指導する際の確認すべき点） ・キックの動き（ウェッジキックとウィップキック）※陸上・板付きキック・スタート（一掻き一蹴り）
8	○平泳ぎ② ○上達のための基本動作①	・グライドキック・呼吸付きグライドキック・腕の動き ・基本平泳ぎの習得（ストローク数が適正）※脱力されている ・スカーリングの習得（キャッチ、スカーリングブル、フィニッシュ）・巻き足
9	○平泳ぎ③	・平泳ぎの習得（キックとブルのタイミング、より抵抗の少ない動作） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
10	○バタフライ① ○上達のための基本動作②	・ドルフィンキック・板付きドルフィンキック・呼吸付きドルフィンキック ・スタート（3種類）・背泳ぎのスタート・タッチターン・フリップターン
11	○バタフライ②	・身体のうねり（浮力）を利用する（イルカ跳びから） ・腕とキックのタイミングを習得する（片手バタフライ※呼吸横と前） ・基本バタフライの習得（ストローク数が適正）※脱力されている
12	○バタフライ③	・バタフライの習得（キックとブルのタイミング、より抵抗の少ない動作） ・反復練習（指導する際の確認すべき点）
13	○補習 ○泳力向上①	・①～⑪までで習得で出来なかった内容について対応 ・メニューを基に泳力向上を目指し練習する（メニューの組み方の習得）
14	○補習 ○泳力向上②	・①～⑪までで習得で出来なかった内容について対応 ・メニューを基に泳力向上を目指し練習する（メニューの組み方の習得）
15	テスト	・100M個人メドレー ・A:シャトルスイム50M×20本（1'20"）、B:シャトルスイム25M×20本（1'）

☐ 到達目標

・100M個人メドレー（50%）

・シャトルスイムA（50M×20本（1'20"）、B25M×20本（1'））のいずれか（50%）

☐ 成績評価の方法・基準

試験80% 課題00% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	レジスタンストレーニングⅢ			周防隆輝	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	00×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はかたぎり塾で現場指導の経験あり。

また競技者としても実績も含み、トレーニング実務経験者として授業を行う。

☐ 授業科目の概要

トレーニング指導の基礎知識を学ぶ

BIG3における挙上重量の向上及びトレーニング中の安全管理を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	イントロダクション	トレーニング成果状況確認。就職状況確認。
2	トレーニングの実際	分割法にてトレーニングスケジュールの作成。目標到達の設定
3	トレーニングの実際②	目標達成に向けたトレーニングの実施。
4	トレーニングマシンの使い方	マシンの説明。負荷の設定方法確認。
5	トレーニングマシンの使い方②	設定負荷を用いたトレーニングの実施及び確認
6	BIG3のフォーム①	ベンチフォームの指導法
7	BIG3のフォーム②	スクワットのフォーム指導法
8	BIG3のフォーム③	デットリフトのフォーム指導法
9	トレーニングメニュー	スーパーセットやコンパウンドセットを用いたトレーニング
10	トレーニングメニュー②	トライセット、ジャアントセットを用いたトレーニング
11	器具を扱わないトレーニング	ペアトレーニング、自重トレーニングなどを用いたトレーニング
12	トレーニング指導の確認	今まで学んだ事を用いてペアでトレーニング指導を行う
13	デットリフト、スクワットのMAX測定	トレーニング効果測定
14	ベンチプレスのMAX測定	トレーニング効果測定
15	前期考査	実技試験の実施

☐ 到達目標

個人目標達成に向けたトレーニングプログラムの実施

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	前期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツ統計学Ⅰ			金森 保智		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

コンサルタントとしての約10年を含む約30年に渡るビジネスパーソンとしてのデータ・統計の活用実践、指導実績を土台に講義を設計、実施

☐ 授業科目の概要

スポーツにおけるデータ・統計活用の事実とその目的・効果を理解し、それを一般化することを通じて、ビジネスにおけるデータ・統計活用の基本的な考え方とその基礎知識・スキルを身につける（データの取得～活用と記述統計を中心に、組み合わせと順列、期待値）

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	なぜ、スポーツをテーマに統計を学ぶのか？	授業概要とルール／字面からわかることとわからないこと／理解を深めるための手段としての身近なこと～メタファーを含むアナロジー／AI・ICT・スポーツって？／重要なのはリアリティ
2	データを利用して3選手から1人を選ぶ～仮説の設定	適切な意思決定とは？／3選手のうち誰を選択するか？／仮説として考えられること～起こりえることを考える
3	パターンの洗い出し～3選手の「並べ方」と「選び方」	どのような並べ方・選び方が考えられる？／樹形図の利用／並べ方と選び方の違い／結果のパターンを考える／順列と組み合わせ
4	「並べ方」と「選び方」を計算で求める～大きく2つのものの見方	いちいち全パターンを考えるのは大変／計算で求める方法はあるのか？／順列の式と組み合わせの式／考え方：式のパーツとパーツごとの計算の意味／実際に計算してみる／対象が増えたと並べ方・選び方はどうなる？
5	仮説の検証と判断に必要なデータ～使いやすさという視点	適切な仮説の条件／仮説の検証にデータを利用するには？／利用できる道具／どのようなデータであれば検証できるのか？／データクレンジングのもう1つの目的／データをクレンジングする
6	データを使った統計的処理・集計	クレンジング後のデータを集計する（代表値、散布度、相関係数）／得られた情報の可視化（表、ヒストグラム、折れ線グラフ、散布図）
7	データを使った判断と仮説の重要性	結論／結果からわかること、解釈できること
8	打率3割が意味することは？～打率3割の現実と将来	過去の結果としての打率3割／結果を利用したら将来を予測できる？／割合と確率との意味の違い
9	未来はどの程度正確に予測できるか？～仮説を考える	仮説が出発点／仮説の検討、材料としての過去の結果、仮説のひな形文、これまでに学んだこと／仮説を洗い出し整理する
10	仮説のブラッシュアップ～判断基準の適切さ	洗い出した仮説は適切か？／仮説が適切かどうかを考える視点／判断基準の設定
11	仮説検証のためのデータ取得	どう検証するか？／実測値を利用するため／どのようなデータを取得すればよいか～モデルの単純化とトランプの利用／データを取得する
12	取得したデータを集約・集計する～ヒット数（成功数）の一覧化	取得したデータのヒット・アウトの判定／正確に判定するには？／目視とExcel関数を利用した判定との差異／結果をどのように集約するか
13	集計データを利用した解釈～打率（成功率）2割と3割の比較	集約データを集計する、集計結果から何がわかるか？、期待値というもの
14	データがあるとできること	理論は難しい、でも、データを活用することはできる／過去13回のオーバーラップ
15	期末試験	スポーツにおけるデータ・統計活用で学んだこと～セイバーメトリクスとバイオメカニクスをビジネス視点に変換する／過去13回のオーバーラップ

☐ 到達目標

スポーツにおけるデータ・統計活用を出発点に、データの基本的な集計・加工と、結果を利用した解釈・判断を適切に行える状態

☐ 成績評価の方法・基準

期末試験100%（大きく以下①～⑤の要素で評価）

①受験、②結論、③学びの活用、④論理、⑤表現

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	教養Ⅳ			柿沼 直樹		
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

新社会人としての生活が目前に迫る中で、社会人生活で活かせる様々なコミュニケーション能力を身に付ける。
様々なコミュニケーション能力の向上を目指す。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業ガイダンス	授業の目的・ねらいと進め方
2	ロジカルシンキング	フレームワークについて学ぶ
3	ロジカルシンキング	フレームワークについて学ぶ
4	ロジカルシンキング	フレームワークについて学ぶ
5	グループダイナミクス①	グループワーク問題①
6	グループダイナミクス②	グループワーク問題①と解説
7	グループダイナミクス③	グループワーク問題②
8	グループダイナミクス④	グループワーク問題②と解説
9	グループダイナミクス⑤	グループワーク問題③
10	グループダイナミクス⑥	グループワーク問題③と解説
11	コミュニケーション能力まとめ①	交流分析①／プレゼンテーション
12	コミュニケーション能力まとめ②	交流分析②／プレゼンテーション
13	コミュニケーション能力まとめ③	交流分析③／プレゼンテーション
14	コミュニケーション能力まとめ④	交流分析④／プレゼンテーション
15	後期考査	

☐ 到達目標

社会人マナーを身に着ける

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 課題30% 出席状況・授業態度40%

2025年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ビジネスコミュニケーションⅣ		柿沼 直樹		
授業の種類		授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義		1	2×15	週1コマ＝2時限×15週 週2コマ＝4時限×15週

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

授業科目の概要

スポーツ業界の動向や業界研究を行なう。自分の内定先のことを知り、他のスポーツ業界とどのような連携を行えるかを考えることにより将来に繋げる。

授業の計画

週	項目	授業内容
1	授業ガイダンス	授業の目的・ねらいと進め方 & 内定先の企業について調べる。(取り組み、ビジョン、競合企業など) & プレゼン資料作成
2	業界研究①	内定先の企業について調べる。(取り組み、ビジョン、競合企業など) & プレゼン資料作成
3	業界研究②	内定先の企業について調べる。(取り組み、ビジョン、競合企業など) & プレゼン資料作成
4	業界研究③	内定先の企業について調べる。(取り組み、ビジョン、競合企業など) & プレゼン資料作成
5	業界研究④	中間発表①
6	業界研究⑤	中間発表②
7	業界研究⑥	1回～4回のプレゼン資料ブラッシュアップ
8	業界研究⑦	1回～4回のプレゼン資料ブラッシュアップ
9	業界研究⑧	1回～4回のプレゼン資料ブラッシュアップ
10	業界研究⑨	最終発表①
11	業界研究⑩	最終発表②
12	業界研究⑪	発表を聞き、自分の内定先と友達の企業とでどんな連携ができるか。①
13	業界研究⑫	発表を聞き、自分の内定先と友達の企業とでどんな連携ができるか。②
14	業界研究⑬	社会人1年目の心構え、キャリアプランについて①
15	業界研究⑭	社会人1年目の心構え、キャリアプランについて② & テスト
16		

到達目標

社会人としてのイメージを持つ。

成績評価の方法・基準

課題60% 出席状況・授業態度40%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	コンピュータ演習Ⅳ			草刈	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。
その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

未取得のサートファイ検定取得・ブラインドタッチ練習
Excel3級/Powerpoint初級/Word3級の資格取得を目指す

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	検定対策／プレゼン資料制作	各自未取得資格の模擬問題／プレゼン資料作り（スポーツ大会・クロスオーバーサミットなど）
2	検定対策／プレゼン資料制作	各自未取得資格の模擬問題／プレゼン資料作り（スポーツ大会・クロスオーバーサミットなど）
3	検定対策／POP制作	各自未取得資格の模擬問題／スポーツ大会資料・掲示物制作
4	検定対策／POP制作	各自未取得資格の模擬問題／スポーツ大会資料・掲示物制作
5	検定対策／POP制作	各自未取得資格の模擬問題／スポーツ大会資料・掲示物制作
6	検定対策／POP制作	各自未取得資格の模擬問題／スポーツ大会資料・掲示物制作
7	検定対策／POP制作	各自未取得資格の模擬問題／スポーツ大会資料・掲示物制作
8	検定対策	各自未取得資格の過去問題
9	検定対策	各自未取得資格の過去問題
10	検定対策	各自未取得資格の過去問題
11	検定対策	各自未取得資格の過去問題
12	検定対策	各自未取得資格の過去問題
13	検定対策	各自未取得資格の過去問題
14	検定対策	各自未取得資格の過去問題
15	期末考査	

☐ 到達目標

PowerPoint初・上級／Excel 3 級／Illustrator初級レベル
未取得のサートファイ検定取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験30％ 課題20％ 出席状況・授業態度50％

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	レジスタンストレーニングⅣ			周防隆輝	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	00×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はかたぎり塾で現場指導の経験あり。

また競技者としても実績も含み、トレーニング実務経験者として授業を行う。

☐ 授業科目の概要

トレーニング指導の基礎知識を学ぶ

BIG3における挙上重量の向上及びトレーニング中の安全管理を学ぶ

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	イントロダクション	前期授業を通した効果測定。
2	各種トレーニング方法の学習	分割法にてトレーニングスケジュールの作成。目標到達の設定
3	各種トレーニング方法の実施	目標達成に向けたトレーニングの実施。
4	トレーニングマシンの使い方	マシンの説明。負荷の設定方法確認。
5	トレーニングマシンの使い方②	設定負荷を用いたトレーニングの実施及び確認
6	BIG3のフォーム①	ベンチフォームの指導法
7	BIG3のフォーム②	スクワットのフォーム指導法
8	BIG3のフォーム③	デットリフトのフォーム指導法
9	トレーニングメニュー	スーパーセットやコンパウンドセットを用いたトレーニング
10	トレーニングメニュー②	トライセット、ジャアントセットを用いたトレーニング
11	器具を扱わないトレーニング	ペアトレーニング、自重トレーニングなどを用いたトレーニング
12	トレーニング指導の確認	今まで学んだ事を用いてペアでトレーニング指導を行う
13	デットリフト、スクワットのMAX測定	トレーニング効果測定
14	ベンチプレスのMAX測定	トレーニング効果測定
15	前期考査	実技試験の実施

☐ 到達目標

個人目標達成に向けたトレーニングプログラムの実施

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	スポーツ統計学Ⅱ			金森 保智	○	
授業の種類	授業の方法（講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載））			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2X15	週1コマ＝2時限×15週 週2コマ＝4時限×15週

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

コンサルタントとしての約10年を含む約30年に渡るビジネスパーソンとしてのデータ・統計の活用実践、指導実績を土台に
講義を設計、実施

☐ 授業科目の概要

スポーツにおけるデータ活用で得られる効果から、
将来に渡って利用できる適切な目標～計画～行動～測定・評価～見直し

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	スポーツを通じてあなたが獲得したものは？	自分の強みは何？～質問の仕方を変える思考の深まり／（課題）スポーツを通じて獲得したものから考える自分の「強み」／スポーツに真剣に取り組んだ人の強み～経営者や人事担当者の視点
2	データを使って強みを表現する～スポーツからの学びの最大化	（課題）自分の強みは本当に強みなのか？／強みを強みと言うためには？／「どうしても」より自分の強みを客観的に表現できるか？／強みをつくる・磨く1つの方法
3	データを使った行動への変換～数値と行動の変換作業	（課題）食事の目的を整理する／適切な食事をしてもらうには？～食事における目標／目的と目標の関係／食事における目的と目標～定性的・定量的／どうしても目標は達成できる？／行動を促す工夫
4	データを使った動機づけの効果～動機づけ理論	すべての目標は達成できたか？／（課題）成功した事例と失敗した事例を洗い出す共通点を抽出する／成功事例での工夫を洗い出す／動機づけ理論／行動の習慣化に必要な時間とポイント／目標の重要性
5	目標設定の視点～目標設定とチャートの活用法	目標設定の1つの方法～フォーマット（チャート）の活用／フォーマットの活用例～大谷翔平選手の高1時点での目標と利用されたフォーマット／フォーマットを活用する利点／フォーマットの活用法とポイント
6	実際の目標設定～チャートの検討・作成	（課題）フォーマット（チャート）を使って将来の目標を検討・アウトプットする
7	状態目標と数値目標～到達状況を評価するには？	絵に描いた餅という問題／目標の達成に「必要なこと」／状態目標と数値目標～その必要性和関係性／アウトプットしたチャートの良し悪しを評価する視点／（課題）アウトプットしたチャートの自己評価は？
8	目標設定～ブラッシュアップから始まる計画づくりと行動への誘い	「目的・目標の見直し」と「計画・行動の見直し」との違い／（課題）アウトプットした将来の目標をブラッシュアップする～計画・行動を見直す前に
9	スポーツビジネスとデータ活用	（課題）スポーツに関わる①仕事を洗い出す②企業を洗い出す／スポーツに関わるビジネスを整理する／スポーツに関わるビジネスの表舞台と裏部隊／なぜ、IT企業は球団親会社になるのか？①
10	スポーツの特徴～スポーツビジネスとデータ活用	（課題）さまざまなスポーツの特徴を洗い出す②整理する／スポーツの特徴が考えるデータの活用場面／スポーツに関わるビジネスではどのようなデータが利用されるか？／なぜ、IT企業は球団親会社になるのか？②
11	マネーボールの世界観～資金の乏しいチームの選択	資金が潤沢な球団と資金の乏しい球団～MLBを例に／（課題）資金の潤沢な球団のオーナーだったら？・資金の乏しい球団のオーナーだったら？／資金の乏しい球団が実際にいったこと／MLBの今
12	MLBの狙いを考える～日本人選手の獲得とビジネス	（課題）MLBの日本人選手はどの程度いるか？／MLBの日本人選手は増えているのか？／なぜ、MLBの開幕戦がアジアで行われるのか？／球団経営はビジネス
13	ビジネスとスポーツの共通点	スポーツに真剣に取り組んだ人を企業はどう見ているか？／ビジネスとスポーツの共通点を考える／（課題）ビジネスとスポーツの共通点を①抽出する②整理する
14	ビジネスにおけるデータ活用	将来に渡って納得度の高い評価を得るために～ビジネスにおける評価とデータ活用／PDCAとは？／過去13回のオーバーラップ
15	期末試験	
16		

☐ 到達目標

「スポーツにおける目標～計画～行動～測定・評価～見直し」を
起点に、ビジネスにおいて成果の上がる意思決定の手法と
データ活用のポイントを押さえ、将来的に利用できる状態

☐ 成績評価の方法・基準

期末試験結果（大きく以下①～⑤の要素で評価）①受験、②結論、③学びの活用、④論理、⑤表現
※一定数以上の出席を期末試験の受験条件とする

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツ施設概論Ⅱ			宮岡 正樹		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	1×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

□ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社東急スポーツオアシス15年、エイワンスポーツプラザ5年 通算20年の運営、経営経験。その後、フリーランスでスポーツメディア株式会社アドバイザー（他5社）、全国30社以上のスポーツビジネスの開業、運営支援、人材育成を行う。

□ 授業科目の概要

スポーツビジネスの収益構造を複数の業種の具体的事例から学び、開業から運営のポイントを理解する。

運営（プレイング）だけでなく経営的視点を持ち、経営企画・管理を行える能力を身につける。

□ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	前期テスト振り返り	前期テスト内容の売上、費用科目の内容と変動要素、変動幅、マネジメントのポイントを解説し理解を深める。
2	民間スポーツ施設の収支構造	民間スポーツ施設（大型、中規模、小規模）での収支構造、利益確保のポイント、成功例、失敗例を学ぶ。
3	公共スポーツ施設の収支構造	公共スポーツ施設（都市部、地方）での収支構造、利益確保のポイント、成功例、失敗例を学ぶ。
4	プロスポーツチームの収支構造	プロスポーツチーム（野球、バスケットを例に）での収支構造、利益確保のポイント、成功例、失敗例を学ぶ。
5	スポーツ量販店の収支構造	大型スポーツ量販店の収支構造、利益確保のポイント、成功例、失敗例を学ぶ。
6	事業計画書の基本	前4回で学んだことを基本に中規模（年間3億円程度）民間スポーツ施設の事業計画書を紹介、理解する。
7	ブランディング、マーケティング	出店地（地域）に根差すために必要なブランド作りとマーケット調査の手法を理解する。
8	プロモーションとセールス	認知を高めるプロモーション、実際に購買をしていただくためのセールスの関係性、購買動向を理解する。
9	人件費のコントロールについて	人件費コントロールの重要性、見えないコスト（採用、育成、退職）を理解し適正配置を理解する。
10	アカウンティング	運動事業における収支科目について経理の初歩レベルをベースに理解、管理できることを目指す。
11	公共スポーツ施設具体的事例	令和6年10月に入札参加して地方都市大規模運動施設の開業から運営までの事業計画を学ぶ。
12	民間スポーツ施設具体的事例	都心500名規模の総合フィットネス、地方都市500名規模のスクール事業の実績から運営のポイントを理解する。
13	事業計画書作成	これまでの理解度を勘案し取り組みやすい条件を想定にしたスポーツ施設の事業計画書を作成する。
14	1年間の振り返り、総括	1年間学んだスポーツ施設概論の各ポイントの振り返り、理解力を高める。
15	後期考査	後期考査。

□ 到達目標

スポーツビジネスの収支構造を理解し、運営、管理能力を身につける。

□ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		スポーツイベント企画Ⅳ		平 陵治		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（一社）bjアカデミーに8年間在籍し、バスケットボールスクールの運営や生徒募集のための体験イベント企画立案、運営に従事。
その後独立し、様々なスポーツイベントのサポートを行っている。

☐ 授業科目の概要

学校イベントであるスポーツ大会の企画と運営までを学科として担当する

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	駅からハイキング実施準備	ゴール後イベントの最終調整、各種準備物の確認
2	駅からハイキング実施準備	直前の最終準備
3	駅からハイキング運営	駅からハイキングのゴール後イベント運営を担当
4	スポーツ大会イントロダクション	クラスの全員が関わっている冬開催の「スポーツ大会」に向けての準備。スポーツ大会成功に向けた意思統一。昨年の反省。役割・各班の決定
5	スポーツ大会準備①	テーマの設定、競技種目検討、会場運営のたたき台作成、必要備品の洗い出しと購入計画作成、ポスター作成
6	スポーツ大会準備②	学校側（教育イベントチーム）との協議に向けた準備
7	スポーツ大会準備③	学校側からの指摘に対する修正
8	スポーツ大会準備④	それぞれの班の進行状況報告と問題点の洗い出し。
9	スポーツ大会準備⑤	直前準備
10	スポーツ大会の振り返り	スポーツ大会を実施した後の振り返り
11	ポップアップショップ運営の準備①	発注商品の納品確認、POP作成、ポスター作成・掲示、商品台帳等の準備
12	ポップアップショップ運営の準備②	商品展示、レジ準備
13	ポップアップショップ運営	ポップアップショップの運営、シフト勤務
14	ポップアップショップの商品返却	借りた商品の返却（棚卸をしたうえで返却）
15	振り返り	前期・後期を通した振り返り

☐ 到達目標

イベントを安全に実施すること

☐ 成績評価の方法・基準

取り組み姿勢70%、役割15%、出席状況15%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツ概論Ⅱ			半谷 雄佑		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実習実技			1	00×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師はTOTAL Workoutで5年間、独立して9年～パーソナルトレーナーと続けており、その実績からトレーナーとしてトレーニングの実習授業を行う。

☐ 授業科目の概要

授業は基本的にトレーニングルームにて実習。トレーニングを通して筋肉や身体の構造、栄養素等についてを学ぶ。
トレーナーとしておおまかな動き方を理解する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	脚トレ	スクワット、ランジ、マシン。スクワットジャンプ、デプスジャンプ
2	胸トレ	ベンチ、ダンベル、ケーブル他。TRX
3	背中	懸垂、Tバー
4	神経系トレーニング	クリーン、スナッチ、ダッシュ
5	胸と肩	胸と肩をどちらかでも両方でも
6	MAX測定	ベンチ、デッド、スクワット
7	脚トレ、腹筋	スクワット他、サイドプランク、ボディソウ
8	肩、イナーシャウエーブ	インクラインサイドレイズ、ライイングリアレイズ、イナーシャウエーブ
9	胸トレ	(トレーニング)ベンチ、インクラインダンベルフライ、ケーブルクロス
10	MAX測定(学期末)	スクワット、デッドリフト、ベンチプレス
11	HIIT	ダッシュ他
12	MAX測定	スクワット、デッドリフト中心に
13	神経系トレーニング	クリーン、スナッチ
14	MAX測定	ベンチ、デッド、スクワット
15	後期試験	ペーパーテスト

☐ 到達目標

トレーニングをして身体の構造、栄養のことを学ぶ。
運動をする大切さを知る。

☐ 成績評価の方法・基準

試験20% 課題00% 出席状況・授業態度80%
基本的に出席。期末試験は理解度を評価。

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	スポーツ業界研究Ⅱ		酒井 浩之		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はスペインのプロサッカーチーム「レアルマドリッド」の社員として活躍されたほか、サッカーの公認代理人として数多くの選手と契約し、スポーツ業界において精通している

☐ 授業科目の概要

実際の就職活動に向けて、研究してきた業界に対して、自分自身の希望を重ね合わせて、どんな質問が想定されるのか、実践を通して準備していく

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	自己紹介の作り方	自分をどうPRするかの手法など
2	就職活動で大切なこと	自身の経験からうまく行かないことも想定した人生設計をすべき
3	スポーツブランド	スポーツブランドに就職するには？
4	スポーツショップ	スポーツショップに就職するには？
5	スポーツチーム	プロチームを支えるマネージャーや広報、スポーツ用品開発、スポーツ栄養士、健康運動指導士に就職するには？
6	その他スポーツチーム	プロチームを支えるマネージャーや広報、スポーツ用品開発、スポーツ栄養士、健康運動指導士に就職するには？
7	スポーツ施設	スポーツ施設の運営に就職するには？
8	スポーツメディア	スポーツメディアに就職するには？
9	指導者	指導者系に就職するには？
10	その他現場	トレーナー・分析などに就職するには？
11	実践1	1人10分 の質疑応答練習 自己PR練習
12	実践2	1人10分 の質疑応答練習 自己PR練習
13	実践3	1人10分 の質疑応答練習 自己PR練習
14	実践4	1人10分 の質疑応答練習 自己PR練習
15	実践5	1人10分 の質疑応答練習 自己PR練習

☐ 到達目標

業界を理解し、自身の就職活動に繋げる

☐ 成績評価の方法・基準

試験なしの毎週のレポート提出で判断

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ウェルネスマネジメントⅣ			宮崎景		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

スポーツ指導およびスポーツイベントを主な業務としている（有）アクアティク代表で、元JOC強化スタッフ、神奈川県国スポ監督（天皇杯3度獲得）、日本スポーツ協会コーチ4（上級）等の実績で、他の大学や専門学校等でもスポーツ関連の講義を受け持っている。

授業科目の概要

国民医療費は年間で約48兆円を超える中、スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命の延伸や社会全体での医療費抑制への貢献が期待されており、それに伴う効果的なプログラムの知識、指導方法を学び、スポーツの持つ役割と社会性を身に付ける。

授業の計画

週	項目	授業概要
1	身体の仕組みと働き1	筋、骨格、神経系、関節、運動器の仕組み、昨日、働き、コントロール
2	身体の仕組みと働き2	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、スポーツバイオメカニクスの基礎
3	トレーニング論 1	トレーニング学の理論体系、スポーツパフォーマンス構造論、トレーニング手段の基礎知識
4	トレーニング論 2	トレーニング目標の設定、プログラムの設計、トレーニング計画と疲労および回復
5	トレーニング論 3	体力テスト、形態と身体組成の測定と評価、筋力・筋パワーの測定と評価、有酸素・無酸素の測定と評価
6	健康管理	健康管理体制、メディカルチェック、コンディショニングチェック、障害
7	アスレティックリハビリテーション	内容、留意点、進め方、組み立て、コンディショニング手法
8	スポーツの精神障害	気分障害、食行動異常、ストレス関連、心身症。指導者の心構え
9	特殊環境下でのスポーツ対応	暑熱対策、寒冷対策、高知対策、時差、感染症
10	ヘルシーライフ 1	スローピング、活性酸素、アンチエイジング、アクアサイズ、障害の予防
11	ヘルシーライフ 2	ひざやひじの関節痛の原因と予防、ぎっくり腰の原因と予防、ストレッチや運動による神経痛予防
12	ヘルシーライフ 3	リズム運動、家庭での筋トレ、運動中の脱水、早歩きと健康寿命
13	スポーツウェルネス市場	現状と将来性、関連市場、トレンド、スポーツ・ウェルネス・シティプロジェクト
14	スポーツテック	役割、将来性、マーケット、参入企業、AI
15	後期考査	課題作成及び提出

到達目標

スポーツの役割に合わせた知識、指導スキルの取得

成績評価の方法・基準

課題40% 出席状況・授業態度60%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		プロジェクトマネジメント II		荒川裕治		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

任意団体であった「さいたまサッカークラブ」（前身は埼玉県教員サッカークラブ／日本サッカーリーグ2部にも所属）をNPO法人化し、理事長として運営、経営も行った経験を持つ。また、現J3「ツエーゲン金沢」の立ち上げにも参画。（公財）埼玉県サッカー協会元理事

☐ 授業科目の概要

「スポーツクラブの経営・収入獲得マニュアル」（木村正明著）をテキストとする

前期を踏まえて、より「プロ」の領域に踏み込み、現実を理解させていきたい

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	振り返りとこれから	前期の振り返り、テストの振り返り、後期の説明
2	テキストを使用して①	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
3	テキストを使用して②	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
4	テキストを使用して③	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
5	テキストを使用して④	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
6	テキストを使用して⑤	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
7	テキストを使用して⑥	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
8	テキストを使用して⑦	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
9	テキストを使用して⑧	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
10	テキストを使用して⑨	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
11	テキストを使用して10	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
12	テキストを使用して11	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
13	テキストを使用して12	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
14	テキストを使用して13	今週のトピックス（ニュースを解説）。その後、音読を中心に対話をしながら進める
15	後期テスト	

☐ 到達目標

テキストを読み切る

☐ 成績評価の方法・基準

各回の出席、期末考査結果などを総合的に評価する

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマーケティング専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	プロダクトプランニング II			山澤 千昭		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

(株)ナイキジャパンに23年間勤務 営業、マーケティング、商品企画開発に従事 これらの経験を踏まえ具体的な事例を基に実践方法を学ばせる
また、米本社での3年間の経験を伝えることでグローバル思考、広い視野を持つことを理解させる

☐ 授業科目の概要

プランニングを学ぶことでプロダクトに限らずマーケティング、ビジネス全体のプランを組み立てられるスキルを身につける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	商品企画実践 1	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
2	商品企画実践 1	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
3	商品企画実践 1	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由 プレゼンテーション
4	商品企画実践 2	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
5	商品企画実践 2	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
6	商品企画実践 2	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由 プレゼンテーション
7	商品企画実践 3	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
8	商品企画実践 3	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
9	商品企画実践 3	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由 プレゼンテーション
10	商品企画実践4	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
11	商品企画実践4	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由
12	商品企画実践4	商品企画 (グループ or 個人) カテゴリー自由 プレゼンテーション
13	商品企画実践 5	商品企画 (個人) スポーツシューズ企画
14	商品企画実践 5	商品企画 (個人) スポーツシューズ企画
15	商品企画実践	商品企画 (個人) スポーツシューズ企画 プレゼンテーション 最終テスト

☐ 到達目標

リサーチからプランニングまでのスキルを身につける
商品企画に限らずあらゆる業務で一連のスキームをおこなえるようになる

☐ 成績評価の方法・基準

試験 100%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	MacⅡ			本山 繁		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

フリーランスのグラフィックデザイナーで8年間の就労経験がある担当講師が、DTPの知識と経験を生かした授業を行う。

☐ 授業科目の概要

AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用した媒体制作を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
2	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
3	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
4	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
5	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
6	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
7	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
8	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
9	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
10	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
11	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
12	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
13	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
14	媒体制作	AdobeのIllustratorとPhotoshopを使用し、駅からハイキングやショップ運営に伴う媒体のデザインと制作を行う
15	期末考査	

☐ 到達目標

illustratorとPhotoshopを駆使し
媒体のデザインや制作を行う

☐ 成績評価の方法・基準

試験25% 課題25% 出席状況・授業態度50%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	スポーツスタートアップ戦略Ⅱ			平 陵治	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

Growthバスケットボールアカデミーを起業した経験から授業を展開

☐ 授業科目の概要

前期で学んだことを活かし、自分でビジネスを考えて実走する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スタートアップの本質	起業とは何か、挑戦する意味を考える
2	自分を知る	自分の価値観・得意・情熱の棚卸しワーク
3	社会の課題を見つける	身近な問題からビジネスのタネを探す
4	アイデア発想ワーク	アイデアを広げ、形にする練習
5	ミッション・ビジョン設計	「なぜやるのか」を明確にする
6	ターゲットと価値提案	誰に、どんな価値を届けるか考える
7	戦略を立てる	ビジネスモデルの基本を学ぶ（簡易版）
8	スモールスタート企画	小さく試すアイデアを作成する
9	実践準備ワーク	仮説検証の計画を立てる
10	チームと協働	協力・分担・リーダーシップを体験
11	メンタル強化と覚悟	継続・失敗との向き合い方
12	フィードバック会	中間発表・意見交換
13	戦略の磨き込み	フィードバックを反映しブラッシュアップ
14	プレゼン準備	スライド・発表練習
15	最終発表	自分のスタートアップ戦略をプレゼン

☐ 到達目標

自分自身でビジネスを考え、企画を行う

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 出席状況・授業態度70%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント 専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	スポーツツーリズムⅡ			宮崎景		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（有）アクアティック代表で、長年に渡り各地で開催される各種スポーツイベントに携わっており、企画作成、運営業務、実行委員会組織、行政施策対応、地域活性化、経済効果等、さまざまな立場、観点から講義を行う。

☐ 授業科目の概要

観光立国基本計画・スポーツ立国戦略に伴う、観光庁やスポーツ庁の創設といった政策を基に、スポーツツーリズムの分野は地域活性化からも注目をされており、各産業界からも専門知識を有する人材の要望が高まっており、そのニーズに対応出来る為の基礎知識を学ぶ事を基本としている。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	スポーツデステーション1	意味 イメージ 地域愛着
2	スポーツデステーション2	現状 アトラクション リゾート ツアー イベント
3	インバウンド	訪日外国人動向 日本でのスポーツ体験 スキーリゾート等の現状
4	イベントマネージメント1	スポーツイベント産業界と関連産業および構造
5	イベントマネージメント2	コンテンツ制作 プロデュース 定義、目的、評価
6	スポーツイベントツアー1	形態（する、観る、支える、育てる）○
7	スポーツイベントツアー2	商品造成の計画立案と販売
8	法とリスク	スポーツイベントに関係する法律、リスク、保険
9	観光 旅行業1	役割と課題 スポーツ業界との接点
10	観光 旅行業2	自治体 コミッション ブランディング
11	情報管理	情報の集積、伝達体系、管理体制、設備、の仕様と配置
12	広報宣伝	広報戦略、広報ツールと広報プログラム、業務委託
13	交通インフラ	交通アクセス、輸送手段、交通規制、駐車場
14	バリアフリー対策	施設、運営、ハートビル法
15	後期考査	課題レポート提出

☐ 到達目標

スポーツツーリズムコンサルタント・コーディネーターとしてのスキルの獲得

☐ 成績評価の方法・基準

課題40% 出席状況・授業態度60%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	グループエクササイズ指導Ⅶ			村田きよみ	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクター・トレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
2	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
3	講義 有酸素運動について	有酸素効果、エネルギー供給
4	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
5	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
6	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
7	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
8	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
9	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
10	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
11	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
12	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
13	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
14	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
15	後期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%

2026年度	後期	スポーツビジネス学科	2年	健康スポーツマネジメント専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	グループエクササイズ指導Ⅷ			村田きよみ	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
選択授業	実験・実習・実技			1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2025年度生まで：【単位数】「講義・演習」「実験・実習・実技」とも1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

都内大手フィットネスジムでインストラクター・トレーナーとして30年担当。ゴールドジムスタジオディレクターとしてインストラクターの指導育成にも関わる。

☐ 授業科目の概要

多様化されているスポーツビジネスの中で、生涯スポーツを推進するビジネスに触れる。

インストラクターとしての基礎知識とスキルを身につける。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
2	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
3	講義 有酸素運動について	有酸素効果、エネルギー供給
4	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
5	実技 エアロビックダンス	実技 アライメント、動作スキル
6	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
7	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
8	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
9	実技 エアロビックダンス	エアロビックダンス指導練習
10	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
11	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
12	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
13	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
14	まとめ	エアロビックダンス、5種エクササイズ指導
15	後期考查	実技テスト 筆記テスト

☐ 到達目標

自体重トレーニング指導

エアロビックダンス指導

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題20% 出席状況・授業態度20%